

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-6

< 第29週 >

手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.7-8

< 腸管出血性大腸菌感染症 >

第29週の報告数は135例で、累積報告数は1,206例であった



病原体情報  
P.9-11

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2013年



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報  
P.12-18

世界におけるインフルエンザ流行状況 / サウジアラビアへの巡礼者に対するMERS( マーズ )コロナウイルスに関する暫定的な渡航時の助言 / 中東呼吸器症候群( MERS )の発生状況について



感染症の話  
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧( 29週 )  
P.20-25



29週のデータ  
P.26-39



# 発生動向総覧

< 第29週コメント > 7月24日集計分

## 全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

### 1類感染症

報告なし

### 2類感染症

急性灰白髄炎1例( ワクチン株由来\_\_2012年6月発症 )

結核332例

### 3類感染症

細菌性赤痢3例

菌種: *S. flexneri*( B群 )2例\_\_感染地域: 愛知県1例、ミャンマー1例  
*S. sonnei*( D群 )1例\_\_感染地域: インド

腸管出血性大腸菌感染症135例( 有症者93例、うちHUS 4例 )

感染地域: 国内134例、国内・国外不明1例

国内の多い感染地域: 東京都15例、群馬県9例、埼玉県9例\*、三重県8例、香川県7例、岩手県6例、千葉県6例、鹿児島県6例、愛知県5例、佐賀県5例\*\*、福島県4例、福岡県4例、宮崎県4例、宮城県3例、秋田県3例、山形県3例、神奈川県3例、熊本県3例

\* 第28週に報告された保育園に関連した集団感染例を含む( O157 VT1・VT2 )

\*\* 第28週に報告された高齢者福祉施設で起きた集団感染例を含む( O157 VT1 )

年齢群: 0歳( 1例 )、1歳( 7例 )、2歳( 4例 )、3歳( 9例 )、4歳( 6例 )、5歳( 4例 )、6歳( 3例 )、7歳( 3例 )、8歳( 2例 )、9歳( 4例 )、10代( 16例 )、20代( 18例 )、30代( 15例 )、40代( 9例 )、50代( 12例 )、60代( 9例 )、70代( 8例 )、80代( 4例 )、90代( 1例 )

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2( 41例 )、O157 VT2( 40例 )、O26 VT1( 18例 )、O157 VT1( 5例 )、O157 VT不明( 5例 )、O103 VT1( 3例 )、O26 VT1・VT2( 2例 )、O121 VT1・VT2( 2例 )、O121 VT2( 2例 )、O145 VT1( 2例 )、O26 VT2( 1例 )、O111 VT1・VT2( 1例 )、O111 VT1( 1例 )、O111 VT不明( 1例 )、その他・不明( 11例 )

累積報告数: 1,206例( 有症者833例、うちHUS 23例、死亡なし )

腸チフス1例

感染地域: ネパール

### 4類感染症

- E型肝炎2例                    感染地域( 感染源 ): 北海道1例( 不明 )、埼玉県1例( バーベキューでの豚肉 )
- A型肝炎2例                    感染地域 : 愛知県1例、中国/タイ/インド/ネパール1例
- 重症熱性血小板減少症候群2例  
    感染地域 : 島根県1例( 2013年7月発症 )、長崎県1例( 2013年6月発症 )  
    年齢群 : 50代( 1例 )、80代( 1例 )
- つつが虫病4例                感染地域 : 岩手県1例、山形県1例、長野県1例、岐阜県1例
- デング熱5例                    感染地域 : タイ1例、カンボジア1例、ラオス1例、ベトナム1例、インドネシア1例
- マラリア1例                    病型不明\_\_感染地域 : ラオス
- レジオネラ症40例( 肺炎型39例、ポンティアック型1例 )  
    感染地域 : 千葉県6例、長野県4例、宮城県3例、埼玉県3例、富山県2例、静岡県2例、大阪府2例、北海道1例、秋田県1例、山形県1例、福島県1例、栃木県1例、石川県1例、岐阜県1例、愛知県1例、滋賀県1例、兵庫県1例、岡山県1例、福岡県1例、熊本県1例、国内( 都道府県不明 ) 3例、韓国1例、中国1例  
    年齢群 : 30代( 1例 )、40代( 5例 )、50代( 7例 )、60代( 11例 )、70代( 10例 )、80代( 6例 )

**5類感染症**

- アメーバ赤痢15例( 腸管アメーバ症11例、腸管外アメーバ症2例、腸管及び腸管外アメーバ症2例 )  
    感染地域 : 東京都2例、栃木県1例、埼玉県1例、千葉県1例、神奈川県1例、山梨県1例、長野県1例、福岡県1例、国内( 都道府県不明 ) 3例、タイ2例、カンボジア1例  
    感染経路 : 性的接触5例( 異性間2例、異性間・同性間不明3例 )、経口感染6例、不明4例
- ウイルス性肝炎1例        B型\_\_感染経路 : 不明
- 急性脳炎6例                    単純ヘルペスウイルス2例\_\_年齢群 : 30代( 1例 )、80代( 1例 )  
    病原体不明4例\_\_年齢群 : 2歳( 1例 )、7歳( 1例 )、9歳( 1例 )、10代( 1例 )
- クロイツフェルト・ヤコブ病4例  
    孤発性プリオン病古典型3例  
    遺伝性プリオン病ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病1例
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例  
    年齢群 : 40代( 1例 . 死亡 )、70代( 1例 )、80代( 1例 . 死亡 )
- 後天性免疫不全症候群19例( AIDS 3例、無症候12例、その他4例 )  
    感染地域 : 国内17例、国内・国外不明2例  
    感染経路 : 性的接触16例( 異性間5例、同性間10例、異性/同性間1例 )、不明3例
- ジアルジア症2例                感染地域 : 大阪府1例、タイ1例
- 侵襲性肺炎球菌感染症5例( うち髄膜炎のみ2例、肺炎のみ1例\_\_菌検出検体 : 血液3例、血液・髄液2例 )

年齢群 : 50代( 1例 )、60代( 2例 )、80代( 2例 )

梅毒18例( 早期顕症I期3例、早期顕症II期4例、晩期顕症1例、無症候10例 )

破傷風2例 年齢群 : 40代( 1例 )、80代( 1例 )

風しん184例( 検査診断例121例、臨床診断例63例 )

感染地域 : 大阪府32例、東京都27例、兵庫県15例、神奈川県13例、千葉県10例、愛知県7例、京都府6例、福岡県6例、鹿児島県4例、埼玉県3例、和歌山県3例、滋賀県2例、沖縄県2例、宮城県1例、山形県1例、福島県1例、茨城県1例、群馬県1例、長野県1例、三重県1例、島根県1例、佐賀県1例、長崎県1例、国内( 都道府県不明 )42例、国内・国外不明2例

年齢群 : 1歳( 2例 )、3歳( 1例 )、5~9歳( 3例 )、10~14歳( 4例 )、15~19歳( 10例 )、20~24歳( 27例 )、25~29歳( 27例 )、30~34歳( 29例 )、35~39歳( 24例 )、40代( 33例 )、50代( 20例 )、60代( 3例 )、70代( 1例 )

累積報告数 : 13,110例( 検査診断例8,961例、臨床診断例4,149例 )

麻しん2例〔麻しん( 検査診断例1例 )、修飾麻しん1例〕

感染地域 : 埼玉県1例、神奈川県1例

年齢群 : 40代( 1例 )、50代( 1例 )

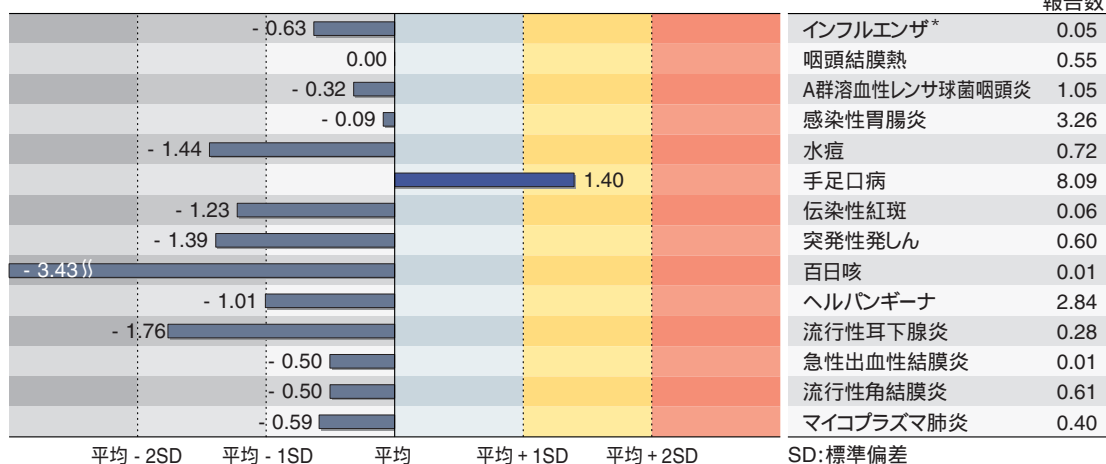
累積報告数 : 165例〔麻しん( 検査診断例58例、臨床診断例59例 )、修飾麻しん48例〕

( 補 )他にウイルス性肝炎1例の報告があったが削除予定。また、2012年第29週から2013年第28週までに診断されたものの報告遅れとして、腸チフス2例( 感染地域 : インド1例、中国/ネパール/インド1例 )、E型肝炎3例〔感染地域( 感染源 ): 北海道1例( バーベキューでの豚肉 )、埼玉県1例( 豚レバー )、中国1例( 不明 )〕、日本紅斑熱2例( 感染地域 : 三重県2例 )、急性脳炎9例〔セラチア菌( 推定 )1例\_\_年齢群 : 70代、リステリア菌( 推定 )1例\_\_年齢群 : 60代、単純ヘルペスウイルス1例\_\_年齢群 : 0歳、ヒトヘルペスウイルス6型1例\_\_年齢群 : 0歳、病原体不明5例\_\_年齢群 : 0歳( 1例 )、1歳( 2例 )、2歳( 1例 )、8歳( 1例 )〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例〔50代( 1例 )、70代( 1例 )〕などの報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較( 第29週 )



当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )との差をグラフ上に表現した。( \*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

### インフルエンザ

定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県( 2.72 )、熊本県( 0.11 )、宮崎県( 0.10 )が多い。

### 小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は635例と第25週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では佐賀県( 2.22 )、鹿児島県( 1.25 )、北海道( 1.18 )が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。都道府県別では福井県( 2.14 )、大分県( 1.92 )、鳥取県( 1.74 )が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。都道府県別では大分県( 7.47 )、愛媛県( 5.92 )、徳島県( 5.87 )が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では高知県( 1.47 )、宮城県( 1.02 )、北海道( 0.99 )が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )と比較してやや多い。都道府県別では埼玉県( 18.69 )、東京都( 13.71 )、大分県( 12.64 )が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県( 0.45 )、新潟県( 0.36 )、東京都( 0.15 )が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県( 0.09 )、新潟県( 0.07 )、愛媛県( 0.05 )が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では高知県( 5.87 )、山形県( 5.37 )、岡山県( 4.89 )が多い。

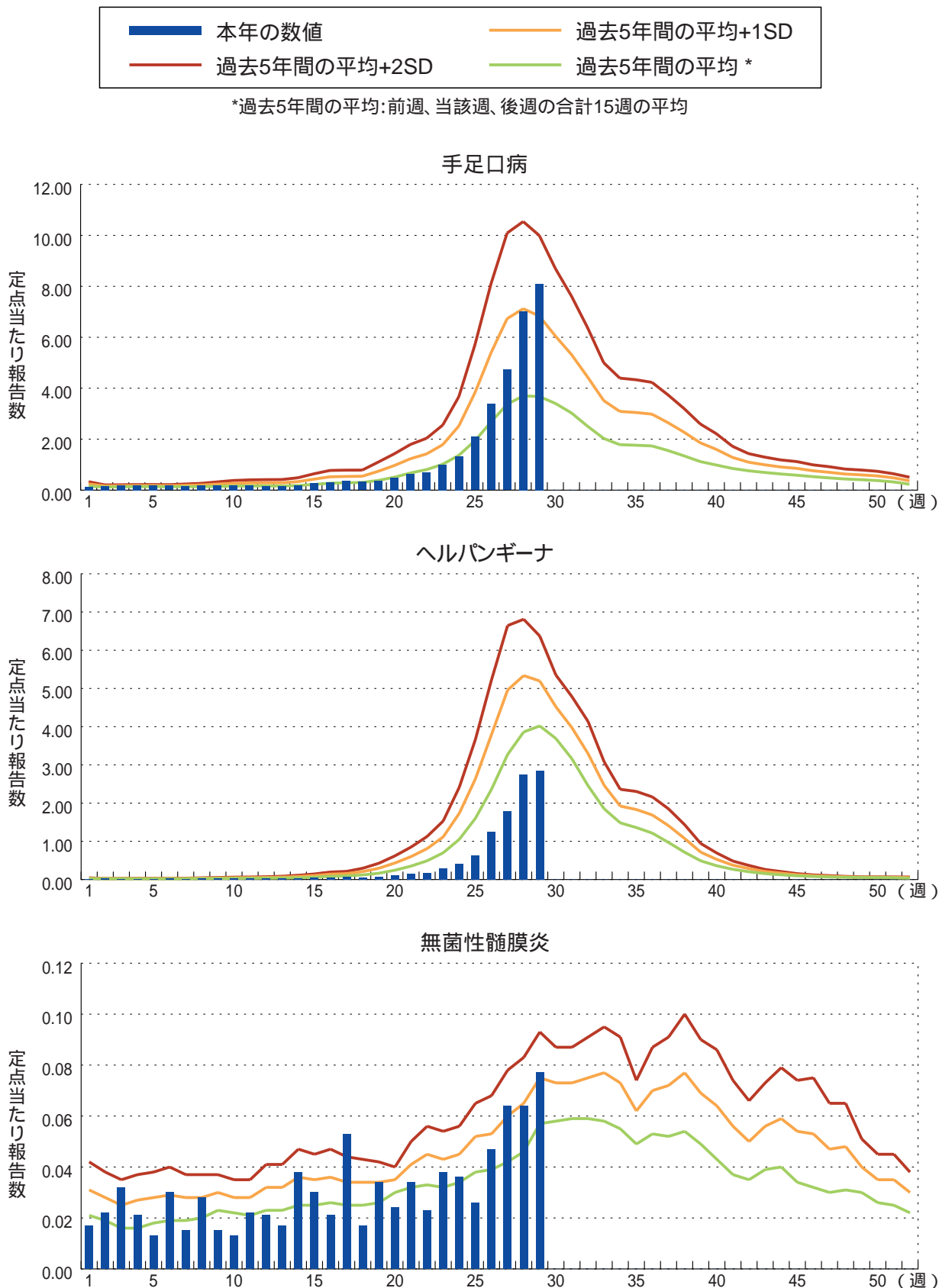
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では佐賀県( 0.91 )、福島県( 0.89 )、福井県( 0.82 )が多い。

### 基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。都道府県別では福島県( 2.57 )、宮城県( 1.33 )、静岡県( 1.30 )が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較( 2013年第29週 )

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





# 注目すべき感染症

## 腸管出血性大腸菌感染症( 2013年7月24日現在 )

2013年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、第19週までは20例以下の報告が続き、第20週から増加し始めた。第26週に130例と100例を超え、第27週154例、第28週169例で第29週は135例であった( 図1 )。本年第29週までの累積報告数1,206例は、2000年以降の各年の同週までの累積報告数と比較して2003年に次いで2番目に少ない報告数である( 2000年1,300例、2001年1,824例、2002年1,407例、2003年1,015例、2004年1,406例、2005年1,391例、2006年1,321例、2007年1,576例、2008年1,443例、2009年1,369例、2010年1,603例、2011年1,616例、2012年1,264例 )。また、患者( 有症状者 )に絞った累積報告数は833例であり、2007年以降\*で比較すると2012年に次いで2番目に少ない( 2007年1,059例、2008年983例、2009年895例、2010年1,017例、2011年1,083例、2012年794例 )( 図2 )。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況( 2000 ~ 2013年第29週 )

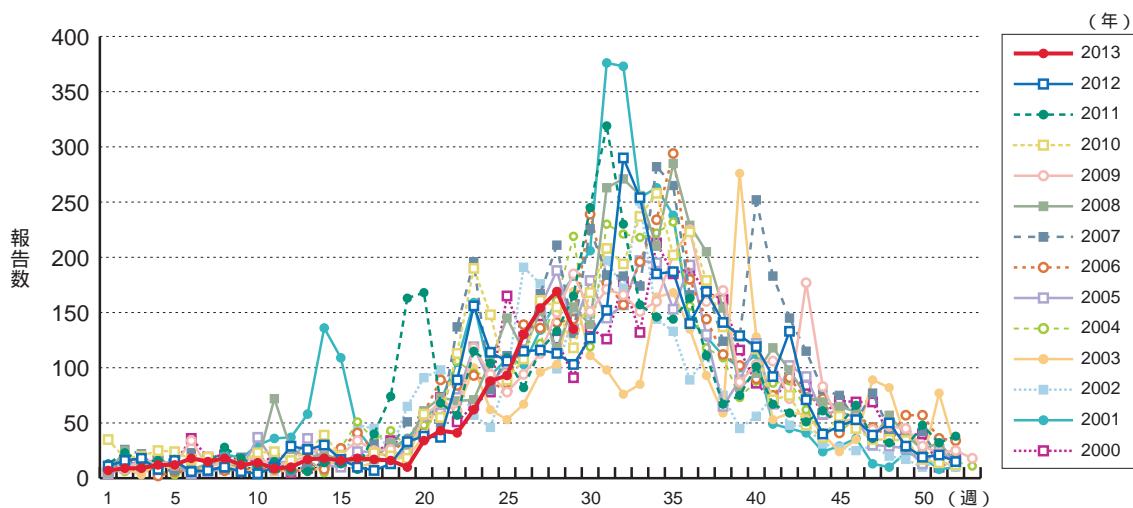
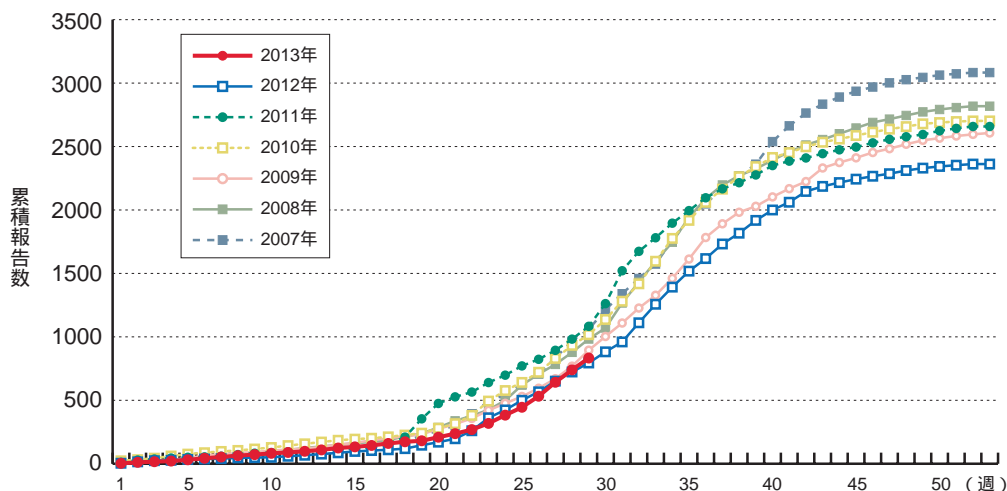


図2. 腸管出血性大腸菌感染症患者( 有症状者 )の年別・週別累積報告数の推移( 2007 ~ 2013年第29週 )



第1～29週の累積報告数1,206例について都道府県別にみると、東京都( 113例 )が最も多く、次いで愛知県( 64例 )、兵庫県( 63例 )、神奈川県( 58例 )、福岡県( 58例 )の順となっている〔速報グラフ( PDF )2013年第29週「都道府県別腸管出血性大腸菌感染症累積報告状況」参照；<http://www.nih.go.jp/niid/ja/ehec-doko.html>〕。

性別では男性524例、女性682例、年齢群別では0～9歳297例( うち5歳未満171例 )、20～29歳207例、10～19歳171例の順に多かった。

集団発生として、第26週に兵庫県の保育園( O157 VT1・VT2 )、静岡県の幼稚園( O157 VT1・VT2 )、第27週に埼玉県の保育園( O157 VT1・VT2 )、第28週に佐賀県の高齢者福祉施設( O157 VT1 )などからそれぞれ報告されている。

腸管出血性大腸菌感染症の重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群( HUS )は、第29週までに累計23例( 男性8例、女性15例 )報告されており、年齢群別では0～4歳11例、15～64歳5例、5～9歳4例、65歳以上2例、10～14歳1例であった。死亡例は報告されていない。

毎年本症が数多く発生する夏季に入り、その発生動向には引き続き注意が必要である。食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要である。特に、保育施設における集団発生が多くみられており、日ごろからの注意として、オムツ交換時の手洗い、園児に対する排便後・食事前の手洗い指導の徹底が重要である。また、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。さらに、過去には動物とのふれあい体験での感染と推定される事例も報告されており、動物との接触後の十分な手洗いにも注意が必要である。

\* 腸管出血性大腸菌感染症の届出基準は、2006年4月よりHUS発症例に限って、菌分離されていなくても、便からのVT検出あるいは血清でのO抗原凝集抗体又は抗ペロ毒素抗体の検出によって診断した場合に届出することとなった。

( 補 ) 菌の検出状況については、

( グラフ ) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/1524-iasrgb.html>

( 集計表 ) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/511-surveillance/iasr/tables/1525-iasrb.html>

をご参照ください。

国立感染症研究所 感染症疫学センター

齊藤剛仁 金山敦宏 加納和彦 八幡裕一郎 中島一敏 砂川富正 大石和徳





## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html> )からの引用です。

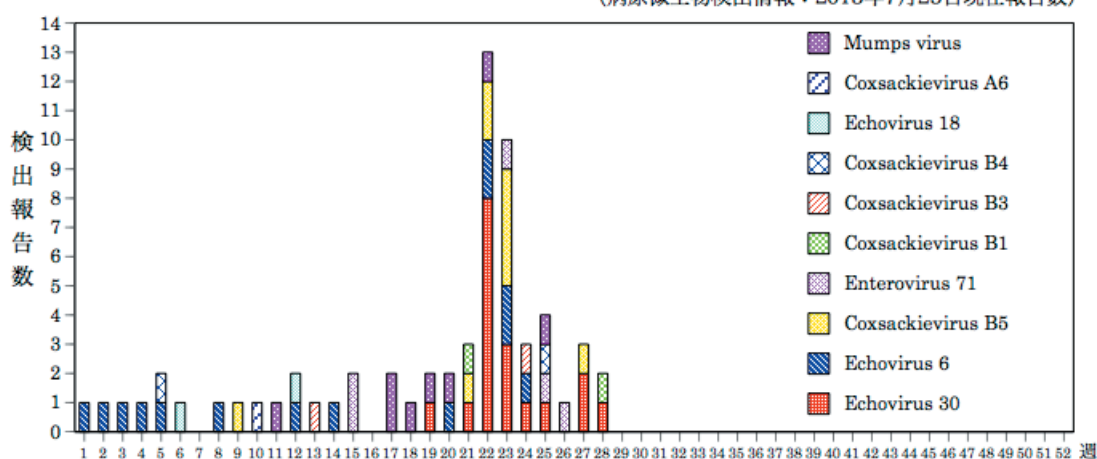
国立感染症研究所・感染症疫学センターには各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

( 2013年7月25日現在報告分 )

### 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2013年

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告数、2013年

(病原微生物検出情報：2013年7月25日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

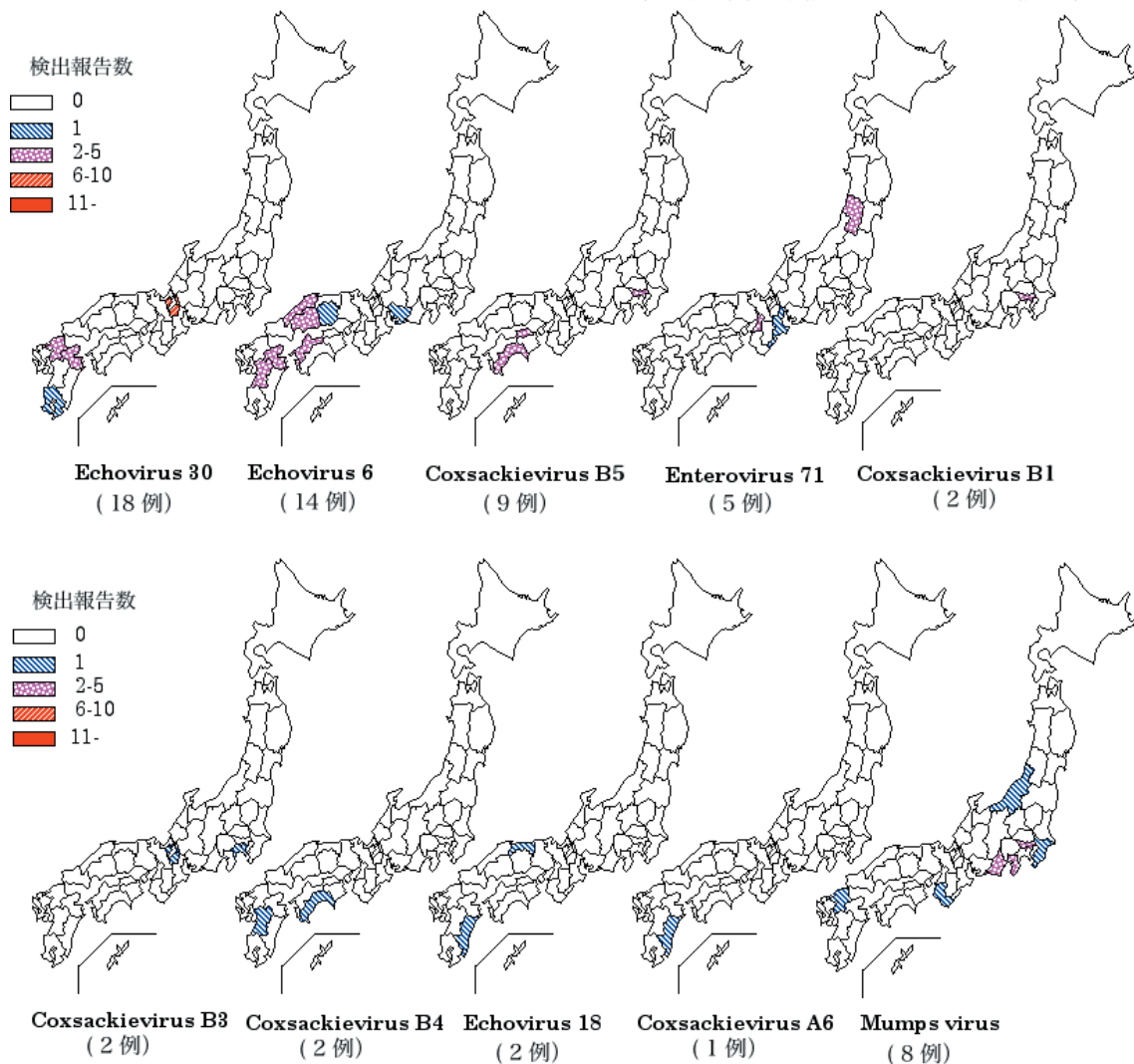


2013年第22週よりエンテロウイルスの検出が増加している。エコーウイルス( E )30型が第19 ~ 28週に4県から18件、E6が第1 ~ 24週に7県から14件、コクサッキーウイルス( C )B5型が第9 ~ 27週に3都県から9件、E71が第15 ~ 26週に3府県から5件報告されている。その他にCB1が第21週と第28週に東京都から2件、CB3が第13週に滋賀県、第24週に神奈川県から各1件、CB4が第5週に熊本県、第25週に高知県から各1件、E18が第6週に鳥取県、第12週に宮崎県から各1件、CA6が第10週に宮崎県から1件報告されている。

ムンプスウイルスの検出は第11 ~ 25週に東京都、静岡県各2件、千葉県、新潟県、和歌山県、福岡県各1件の6都県から8件報告されている。

都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告状況、2013年

(病原微生物検出情報：2013年7月25日現在報告数)

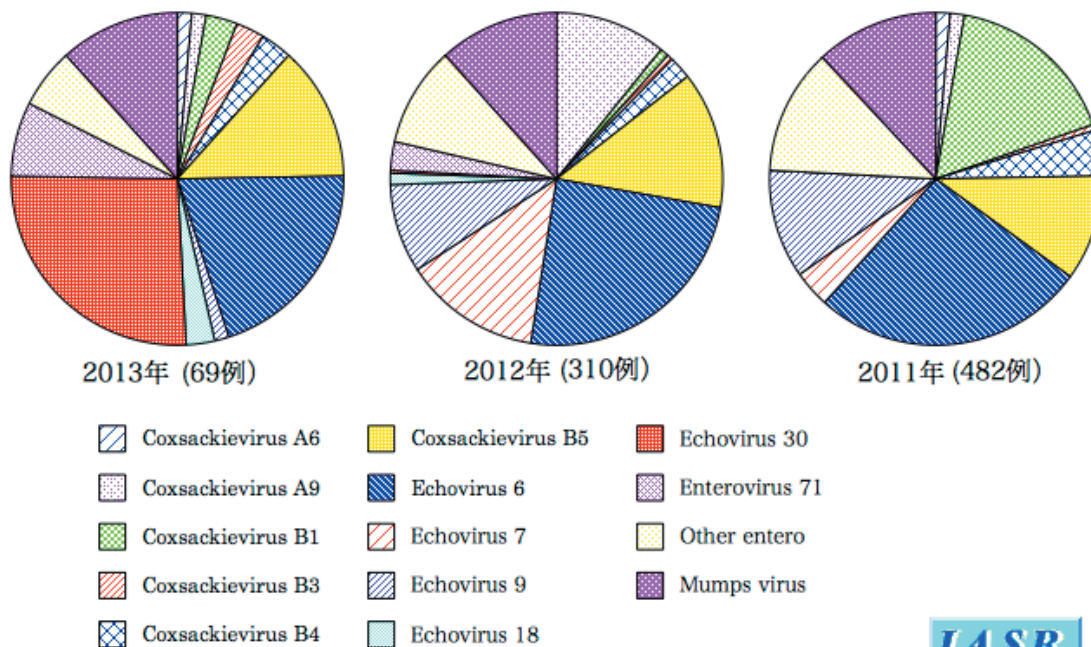


\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



無菌性髄膜炎患者から分離・検出された主なウイルス、2011～2013年

(病原微生物検出情報：2013年7月25日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



無菌性髄膜炎からのウイルス検出速報グラフは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/1532-iasrgv.html>

無菌性髄膜炎からのウイルス検出速報集計表は

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/511-surveillance/iasr/tables/1493-iasr-table-v.html>

を参照下さい。



## 海外感染症情報

\*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### 世界におけるインフルエンザ流行状況( 更新14 )

2013年7月19日 WHO

#### 【要約】

- ・北半球の温帯地域におけるインフルエンザの活動性は依然としてシーズンオフの水準でした。米国では、インフルエンザA( H3N2 )に感染した患者が12人報告されました。詳細は米国疾病予防管理センター( CDC )のホームページを参照してください。  
<http://www.cdc.gov/flu/swineflu/h3n2v-cases.htm>
- ・アジアの熱帯地域のほとんどではインフルエンザの活動性は低下しましたが、インドとベトナムでは、依然としてインフルエンザA型の活動性が比較的高い水準でした。
- ・中米とカリブ海諸国では、キューバとドミニカ共和国におけるインフルエンザの活動性が依然として高い水準ですが、減少傾向にあります。コスタリカ、エルサルバドル、ニカラグアでは活動性が増加し始めました。
- ・南半球のインフルエンザ活動性は、南米と南アフリカでかなり増加しましたが、オセアニアでは依然として低い水準でした。南米の温帯地域では、依然としてRSウイルスが優勢ですが、インフルエンザウイルスが陽性になる割合が増加し続けました。南米の熱帯地域のほとんどの国において、呼吸器疾患を起こすウイルスは、主にインフルエンザA( H1N1 )pdm09が検出されるようになりましたが、エクアドルでは依然としてRSウイルスが主に検出されました。
- ・7月19日時点で、中国でH7N9に感染した患者は133人と報告されました。詳細はWHOのウェブサイト参照して下さい。  
[http://who.int/influenza/human\\_animal\\_interface/influenza\\_h7n9/en/index.html](http://who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html)

#### 【北半球の温帯地域】

##### ・北米

北米におけるインフルエンザの活動性は、ほとんどの地域で、依然として低い水準でした。

カナダでは、インフルエンザの活動性は減少し続けました。国のインフルエンザ様疾患( ILI )の受診率は過去10週間にわたって変動がありませんが、過去7週間、予想される範囲を上回りましたが、ほとんどはライノウイルスによるものと考えられています。米国では、インフルエンザの活動性は依然として低く、シーズンオフの水準でした。米国では、インフルエンザA( H3N2 )に感染した患者が12人報告されました。詳細は米国疾病予防管理センター( CDC )のホームページを参照してください。

<http://www.cdc.gov/flu/swineflu/h3n2v-cases.htm>

メキシコでは、過去数週間にわたってインフルエンザの活動性は低く、一定していると報告されました。6月第2週から7月第1週にインフルエンザが陽性であった検体は13.9%で、大部分がインフルエンザA型でした。急性呼吸器感染症( ARI )の患者と肺炎の患者は前週から減少し続けました。

##### ・ヨーロッパ

ヨーロッパにおけるインフルエンザの活動性は依然としてシーズンオフの水準でした。ILIとARIの受診率は、ヨーロッパのすべての国で低い水準でした。定点機関で採取された検体でインフルエンザが陽性となった検体はなく、この地域のインフルエンザの活動性が低いことが示されま

した。

・ アフリカ北部と西アジア

アフリカ北部と西アジアにおけるインフルエンザの活動性は低い水準です。西アジアのほとんどの地域では、シーズン中、インフルエンザA( H1N1 )pdm09が主に検出されました。しかし、ヨルダンでは、大部分がインフルエンザB型であったと報告されました。

・ 北アジア

アジアの温帯地域では、ほとんどの地域でインフルエンザの活動性が過去数週間以上にわたって徐々に減少し、シーズンオフの水準に達しつつあります。

7月19日現在、インフルエンザA( H7N9 )の患者が133人報告されており、そのうち43人が死亡しました。詳細な情報と更新情報は、WHOのウェブサイトを参照して下さい。

[http://who.int/influenza/human\\_animal\\_interface/influenza\\_h7n9/en/index.html](http://who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html)

【熱帯地域】

・ アメリカ大陸の熱帯地域( 中米、カリブ海諸国 )

カリブ海諸国と中米におけるインフルエンザの活動性は、コスタリカ、エルサルバドル、ニカラグアで増加しました。キューバとドミニカ共和国の活動性は減少しましたが、依然として高い水準でした。この地域では、インフルエンザA( H1N1 )pdm09とインフルエンザA( H3N2 )がともに報告されました。

キューバにおけるインフルエンザの活動性は依然として高い水準でしたが、6月中旬以降、減少し始めました。検査された628検体のうち33.3%がインフルエンザウイルス陽性でした。インフルエンザA型陽性検体のうち、75.5%がインフルエンザA( H1N1 )pdm09で、24.5%がインフルエンザA( H3N2 )でした。キューバでは、ライノウイルスとパラインフルエンザウイルスも流行し続けました。ドミニカ共和国でも、インフルエンザの活動性は減少し始めました。インフルエンザが陽性となった検体の割合が、前回の報告では45.9%でしたが、最近の週では、検査された132検体のうち36.8%に減少し、検出されたのは、ほとんどがインフルエンザA( H1N1 )pdm09でした。コスタリカにおけるインフルエンザの活動性は増加し続けており、主に流行しているウイルスはインフルエンザA( H1N1 )pdm09です。エルサルバドルでは、インフルエンザとRSウイルスの活動性が増加したと報告されました。主に検出されたウイルスは、依然としてRSウイルスでしたが、インフルエンザの活動性が増加しました。

南米の熱帯地域では、インフルエンザA( H1N1 )pdm09が主に検出された呼吸器疾患を起こすウイルスとなりました。しかし、ボリビアのサンタクルス( Santa Cruz )ではインフルエンザB型が主に検出されました。また、エクアドルではRSウイルスが主に検出されましたが、減少傾向を示していました。ニカラグアでは検体が陽性となる割合が急増したと報告されており、6月中旬の陽性検体の割合は15.6%でしたが、最近の週では32%でした。陽性検体の大部分はRSウイルスでした。

コロンビアでは、重症急性呼吸器感染症( SARI )による入院とSARIによるICU( 集中治療室 )への入院割合は、過去数週間と同様であり、インフルエンザの活動性は増加し続けました。過去2週間に685検体が解析され、呼吸器疾患を起こすウイルスが陽性であった割合は26%で、18%がインフルエンザウイルス陽性でした。ベネズエラでは、ARIの活動性が増加し続けており、この時期における流行閾値を超えましたが、過去数週間の指標は減少しました。肺炎患者の割合

も、この時期に予想される範囲内に減少しました。インフルエンザが陽性となった検体のうち、92%がインフルエンザA(H1N1)pdm09で、次いでインフルエンザA(H3N2)が多く検出されたと報告されました。ブラジルにおけるインフルエンザの活動性は減少したようです。陽性検体のうち、主に検出されたのはインフルエンザB型であり、次いでインフルエンザA(H1N1)pdm09が多く検出されました。しかし、SARIの患者では、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09が検出されました。

・ 中部アフリカ

中部アフリカの熱帯地域の多くの国では、過去数週間にわたって、活動性は低い水準と報告されましたが、カメルーン、コートジボワール、マダガスカルは例外でした。カメルーンとコートジボワールでは、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型がともに伝播したと報告されました。マダガスカルにおけるインフルエンザの活動性は、5月末にピークに達した後、減少し続けましたが、インフルエンザが陽性となった検体の割合は43.6%であり、依然として高く、大部分がインフルエンザB型でした。

・ アジアの熱帯地域

東南アジアにおけるインフルエンザの伝播は徐々に減少し、南アジアにおける伝播は過去数週間にわたって低い水準が続きました。どちらの地域も、インフルエンザA型がインフルエンザB型よりも高い割合でした。東南アジアにおけるインフルエンザの活動性は、ほとんどの地域で依然として低い水準でしたが、ベトナムでは、過去数週間にわたって、主にインフルエンザA(H3N2)とインフルエンザA(H1N1)pdm09がともに伝播しました。タイも過去数週間に比べ、インフルエンザA(H3N2)が若干増加したと報告しました。南アジアでは、インドで、過去数週間にわたって主に流行したインフルエンザウイルスはインフルエンザA(H3N2)でした。スリランカでは、過去数週間にわたって、インフルエンザA型の活動性が減少しました。イランとパキスタンも低い活動性でした。中国南部におけるインフルエンザの活動性は徐々に減少しました。

【南半球の温帯地域】

・ 南米の温帯地域

南米の温帯地域では、急性呼吸器疾患の活動性は高く、増加傾向を示しました。ILIとSARIの活動性は、チリとアルゼンチンでこの時期に予想される水準を超え、ウルグアイでは増加していました。ほとんどの国で、依然として主にRSウイルスが流行しています。インフルエンザウイルスは、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09が流行していますが、パラグアイでは主にインフルエンザA(H3N2)が流行していると報告されました。

アルゼンチンでは、ILIの受診者数は過去5年に比べ、流行閾値を超えたと考えられており、SARIの患者数は流行閾値に達しました。今シーズンは、これまでに、呼吸器疾患を起こすウイルスが陽性となった検体の半数以上はRSウイルスでしたが、インフルエンザウイルスの検出数は過去数週間にわたって増加しており、過去のシーズン(2009年を除く)に比べ、陽性検体数が多くみられました。今シーズン中にインフルエンザが陽性となった1,975検体のうち、インフルエンザA型が97.2%、インフルエンザB型が2.9%でした。亜型解析されたインフルエンザA型陽性検体のうち、56.9%がインフルエンザA(H1N1)pdm09で、12.2%がインフルエンザA(H3N2)でした。

チリでは、国のILIの受診率は増加傾向を示しており、過去数週間で流行閾値を超えました。しかし、依然として、RSウイルスが高頻度に検出されました。採取された1,697検体のうち、40%

で呼吸器疾患を起こすウイルスが検出され、インフルエンザウイルスが陽性となったのは8%でした。検出されたウイルスのうち、67%がRSウイルス、16%がインフルエンザA( H1N1 )pdm09または亜型不明のインフルエンザA型でした。

パラグアイでは、ILIの受診率、ILIの割合、SARIに関連した入院の割合は、過去数週間と同様で、増加傾向にありました。6月30日以降に解析された561検体のうち、83%で呼吸器疾患を起こすウイルスが検出され、インフルエンザウイルスが陽性となった検体は43%でした。検出されたウイルスはRSウイルス( 47% )とインフルエンザA( H3N2 ) ( 45% )が大部分を占めました。SARIの患者から採取された121検体では、RSウイルスが最も多く検出されました。

ウルグアイでは、SARIによる入院との割合は依然として高いものの、SARIに関連したICUへの入院の割合は過去2週間以上にわたって減少しました。6月23日以降に解析されたSARI患者の104検体のうち、43%で呼吸器疾患を起こすウイルスが検出され、インフルエンザウイルスは28%でした。インフルエンザが陽性となった検体の割合は増加し、RSウイルスは優勢ではなくなりました。陽性検体のうち、インフルエンザA( H1N1 )pdm09が58%、RSウイルスが29%を占めました。

#### ・南アフリカの温帯地域

南アフリカにおけるインフルエンザの活動性は、6月上旬にピークに達した後、減少したようです。定点機関で採取された検体は、依然としてインフルエンザA( H1N1 )pdm09が主に流行しているインフルエンザの亜型であることを示していますが、インフルエンザA( H3 )とインフルエンザB型も報告されました。

#### ・オセアニア、メラネシア、ポリネシア

オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸島におけるインフルエンザとILIの活動性は、依然として低い水準と報告されました。

オーストラリアでは、6月17日から23日までの1週間、ILIの受診率は増加しましたが、例年のこの時期に比べ、若干低い水準が続きました。ニュージーランドでは、7月1日から7日までの1週間、インフルエンザの活動性は、依然として閾値を下回っていましたが、増加傾向にありました。252検体のうち26検体がインフルエンザ陽性であり、インフルエンザB型が17検体、インフルエンザA( H3N2 )が3検体、インフルエンザA( H1N1 )pdm09が1検体、インフルエンザA型( 亜型不明 )が5検体でした。

### サウジアラビアへの巡礼者に対するMERS( マーズ )コロナウイルスに関する暫定的な渡航時の助言

2013年7月25日 WHO

#### I はじめに

MERS( マーズ )コロナウイルス( MERS-CoV )の発生は、2012年に初めて報告され、これまでに9か国で患者が発生しました。世界保健機関( WHO )は、国際保健規則( IHR 2005 )に基づき、この新たに発生したウイルスに世界的に対応するために調整を行っています。この助言は、これから数か月間にウムラ( Umra )やハッジ( Hajj )に巡礼するために渡航する方がいる国の保健当局に、MERS-CoVの輸入例の予防、発見、管理を行うための指針です。現時点では、個々の巡礼者がMERS-CoVに感染するリスクは非常に低いと考えられています。

## II リスクに関する情報に関する効果的なコミュニケーション

国は、ウムラやハッジの巡礼に渡航する者(特に脆弱な集団)、保健担当者、病気にかかった巡礼者を診療する医療従事者、公共交通機関、旅行会社、一般国民といった、すべての重要な集団に対し、ウムラやハッジに巡礼する前、巡礼中、巡礼した後に、MERS-CoVの広がりに関する情報を伝えるために、実際的で効果的なすべての方法を使うことが重要です。

### 2.1 ウムラやハッジに巡礼する前の行動

国は、巡礼者に対し、重要な基礎疾患(たとえば、糖尿病、慢性肺疾患、免疫不全などの慢性疾患)は渡航中にMERS-CoVへの感染を含む疾患にかかるリスクが増加することがあることを助言すべきです。このため、巡礼者は、巡礼が望ましいかどうか、リスクを検討・評価するために、渡航前に医療従事者に相談すべきです。

国は、出発する巡礼者と旅行会社に対し、インフルエンザや旅行者下痢症などの疾患を含む一般的な感染症のリスクを下げる一般的な衛生対策に関する情報提供を行うべきです。特に、以下の点を強調すべきです。

- ・石けんと水で手をしっかり洗うこと。汚れているように見えない時には手指消毒薬も使用することができます。
- ・加熱していない肉や不衛生な状況で用意された食品の摂取を避ける、果実や野菜は摂取する前に適切に洗うことなどの食品衛生対策を行うこと。
- ・個人衛生対策を継続すること。
- ・農場の動物、家きん、野生動物に不用意に接触しないこと。

保健に関する助言は、渡航部門を連携したり、重要な場所(たとえば、旅行会社の事務所や空港の出発場所)に資料などを置いたりすることによって、ウムラやハッジに出発するすべての渡航者が入手できるようにすべきです。

- ・航空機や船舶に搭乗する際の保健に関する警告、パナー、パンフレット、入国地点でのラジオ情報など様々なコミュニケーション手段を使うことでも渡航者に情報が伝わります。
- ・渡航の際の助言には、MERS-CoVに関する最新情報と、渡航時に病気にかかることを予防するための指針を含むべきです。

MERS-CoVのサーベイランス、感染予防と感染制御の方法、臨床管理に関する現時点におけるWHOの指針、またはこれに準じた国の指針は医療従事者や医療機関に配布すべきです。

国は、MERS-CoVの検査を行うための適切な検査体制を確保し、医療従事者や医療機関に対し、検査に関する情報と臨床的に照会を行う情報を伝えるべきです。

巡礼者に同行する医療従事者は、感染早期の所見・症状を認識する方法、ハイリスクグループと考えられる人、感染が疑われる患者を発見した時の対処方法、感染を減らす簡単な予防方法を含む、MERS-CoVに関する情報と指針は常に最新のものを入手すべきです。

### 2.2 ウムラやハッジに巡礼中の行動

発熱、咳を伴った重症(日常生活に支障が出る程度)の急性呼吸器疾患が現れた渡航者は、以下の助言をされるべきです。

- ・他人の感染を予防するために、接触する人は最低限とすること。
- ・咳やくしゃみをする時はティッシュペーパーで口と鼻を覆い、使用したティッシュペーパーはごみ箱に入れ、手を洗うこと。これができなければ、咳やくしゃみは衣服の袖で



覆い、手を使用しないこと。

- ・ 同行している医療従事者または地域の保健担当部署に報告すること。

### 2.3 ウムラやハッジに巡礼した後の行動

巡礼者が帰国してから2週間以内に、発熱、咳を伴った重症(日常生活に支障が出る程度)の急性呼吸器疾患が現れた場合には、医療機関を受診し、速やかに地域の保健当局に報告するように助言をされるべきです。

発熱、咳のある重症(日常生活に支障が出る程度)の急性呼吸器疾患が現れた巡礼者や渡航者の濃厚接触者で、症状のある人はMERS-CoVの健康監視を行うため、地域の保健当局に報告するように助言をされるべきです。

医療従事者や医療機関は、帰国した巡礼者で急性呼吸器疾患、特に、発熱、咳、肺実質性疾患(たとえば、肺炎、急性呼吸窮迫症候群)がみられた場合には、MERS-CoVに感染した可能性を警戒すべきです。臨床症状が、WHOの症例定義に一致した場合には、MERS-CoVの診断検査、感染予防・感染制御対策を実施すべきです。臨床医は、免疫不全患者では非典型的な症状を示すことも警戒すべきです。

### III 入国地点での対応と輸送について

WHOは、入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは国に対し、巡礼者のみならず、輸送業者、地上職員など巡礼者の渡航に関連する人でのMERS-CoV感染のリスクを軽減するために、渡航時の助言や渡航者の自己申告に関する認識を向上するよう奨励しています。

IHRが求めている通り、国は、輸送機関(航空機や船舶等)で発見された病気にかかった渡航者を評価するために、一定の対応方法を確保すべきです。また、発症した渡航者を、臨床評価と治療を行うために病院や指定された機関へ安全に搬送する方法も確保すべきです。

もし、病気の渡航者が航空機に搭乗していた場合には、乗客所在地登録票(パセンジャー・ロケーター・フォーム)が使用されることがあります。これは、乗客の接触情報を収集するのに有用で、接触者を経過観察する際に、必要に応じて使用されます。

### 中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新37)

2013年7月29日 WHO(GAR)

7月29日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビアでMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに1人発生しました。

患者はアシール地方の83歳の男性で、7月17日に発症し、現在、入院中です。

また、以前にアシール地方から報告された患者1人が死亡しました。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は91人で、このうち46人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターン of 症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症し

た患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、現在の状況について事務局長に助言するため、国際保健規則に基づく緊急委員会を開催しました。緊急委員会は、WHOの全地域の国際的な専門家から構成されており、現時点の情報に基づいてリスクアセスメントを行った結果、満場一致で、国際的な公衆衛生上の脅威となる緊急事態(Public Health Emergency of International Concern : PHEIC)の要件は満たしていないと助言しました。



## 感染症の話

\*\*\*\*\*

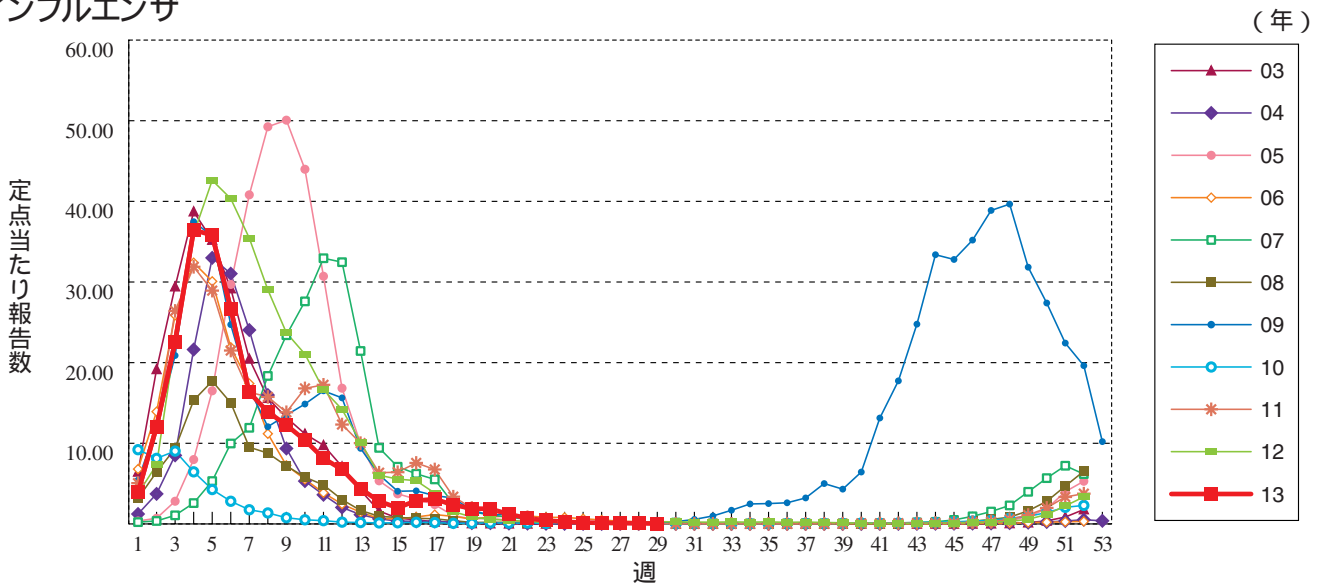
今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>  
でご覧いただけます。

\*\*\*\*\*

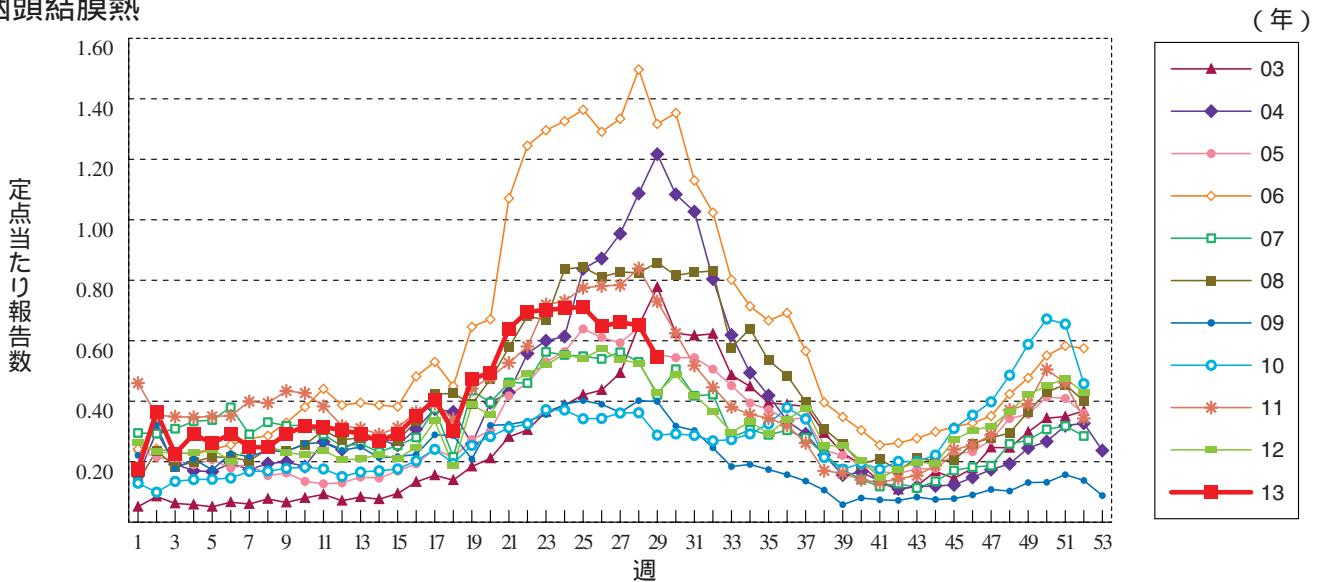


## グラフ総覧(29週)

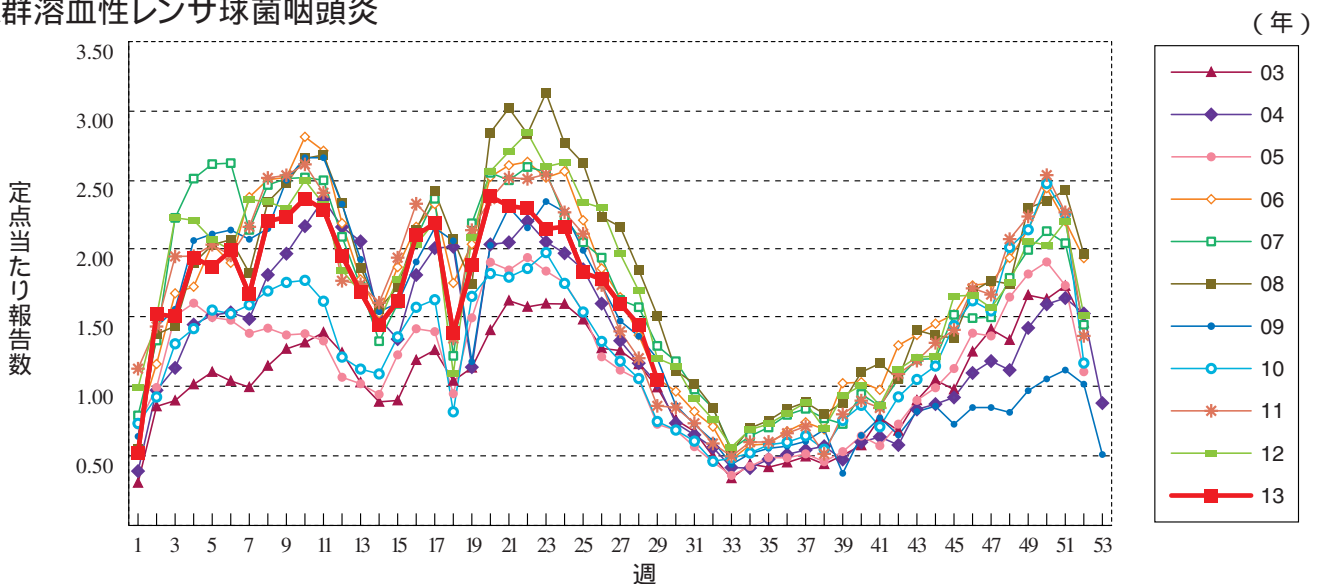
### インフルエンザ



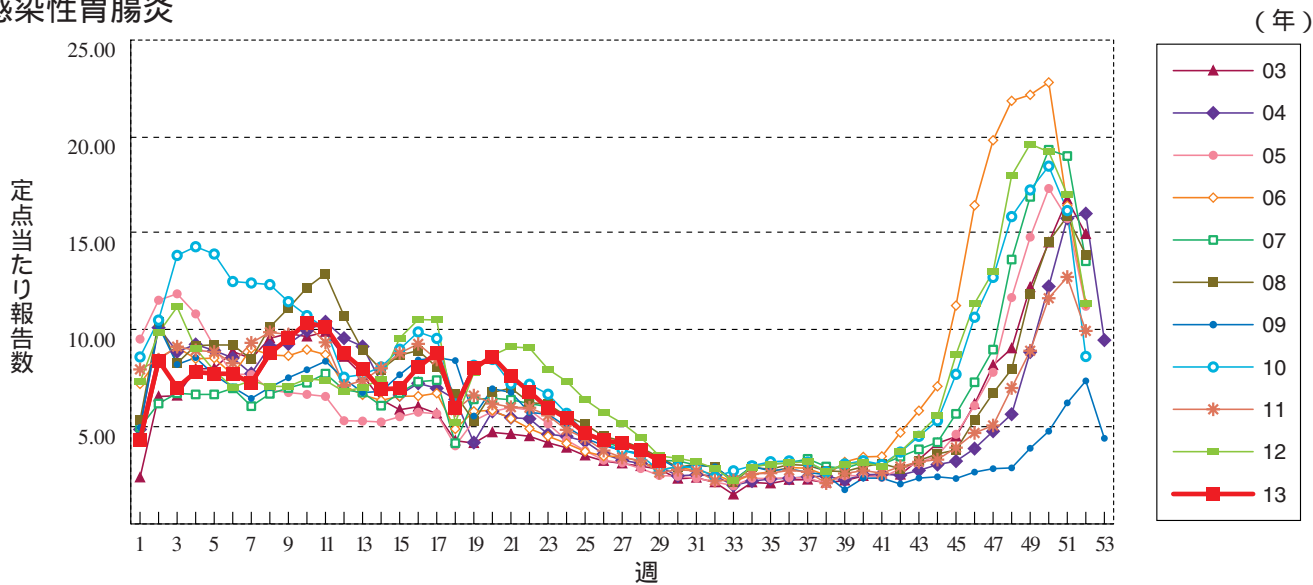
### 咽頭結膜熱



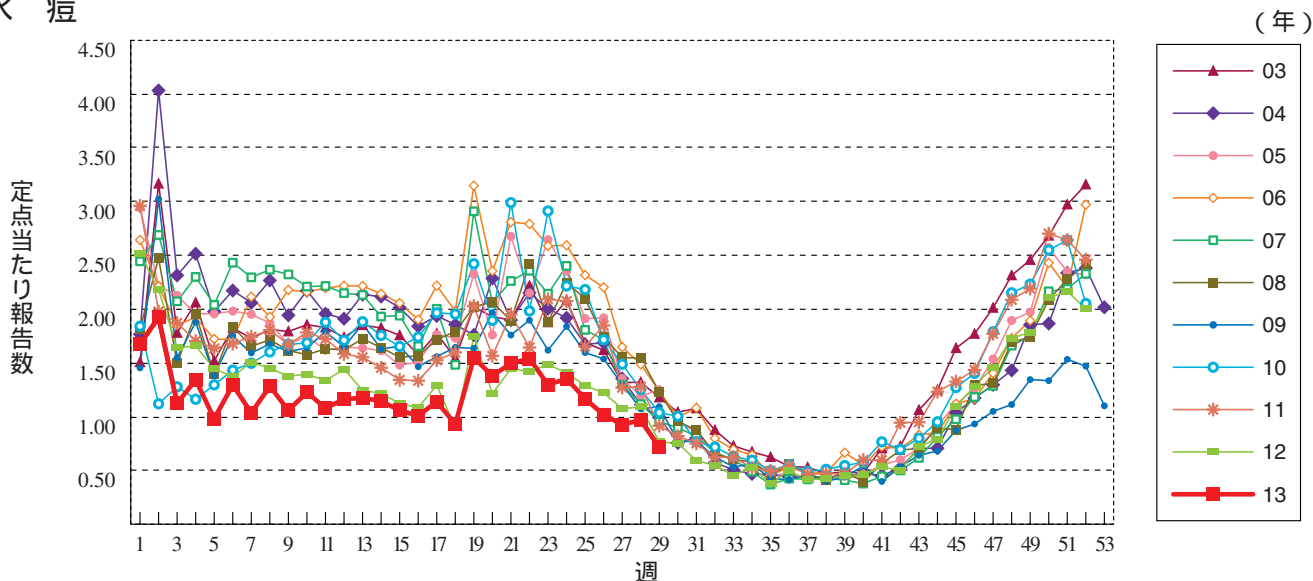
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



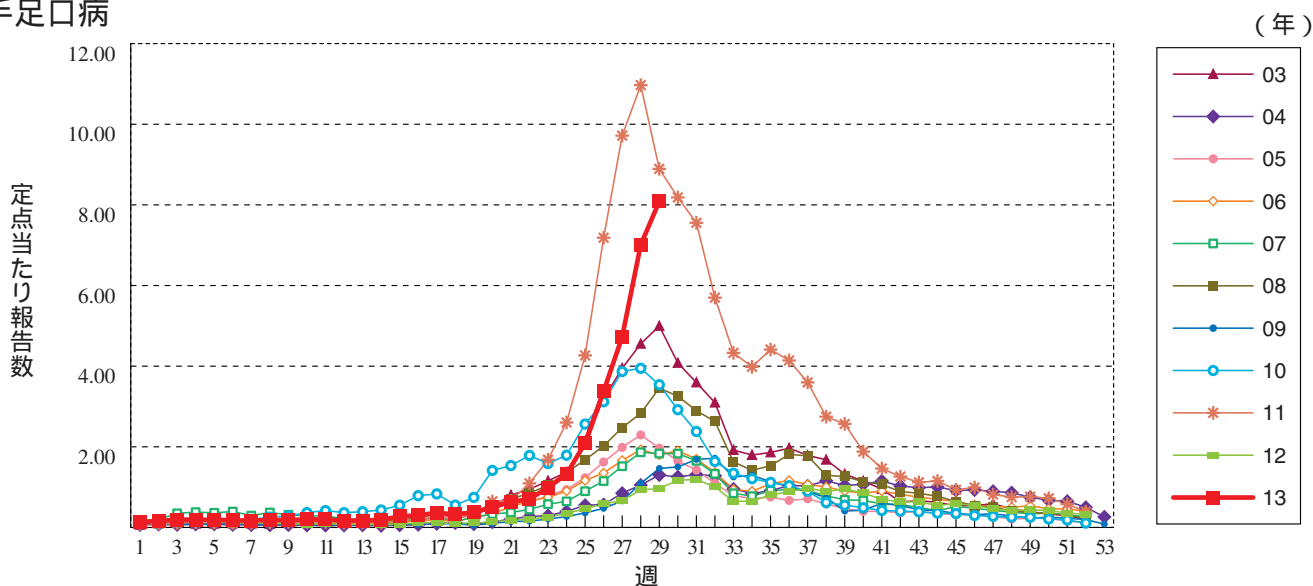
感染性胃腸炎



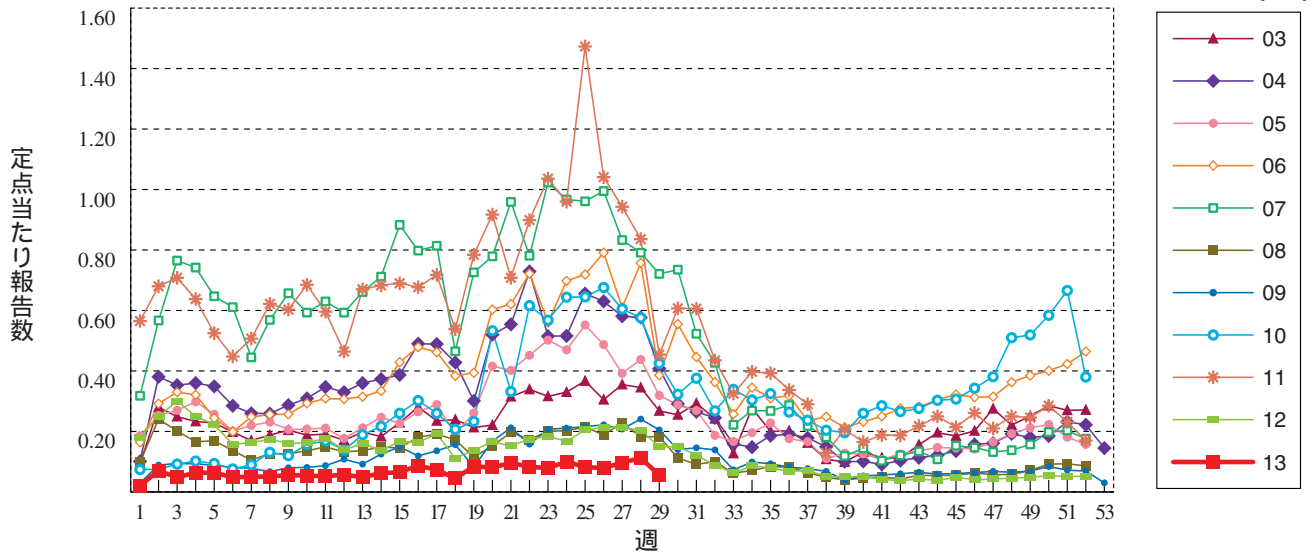
水痘



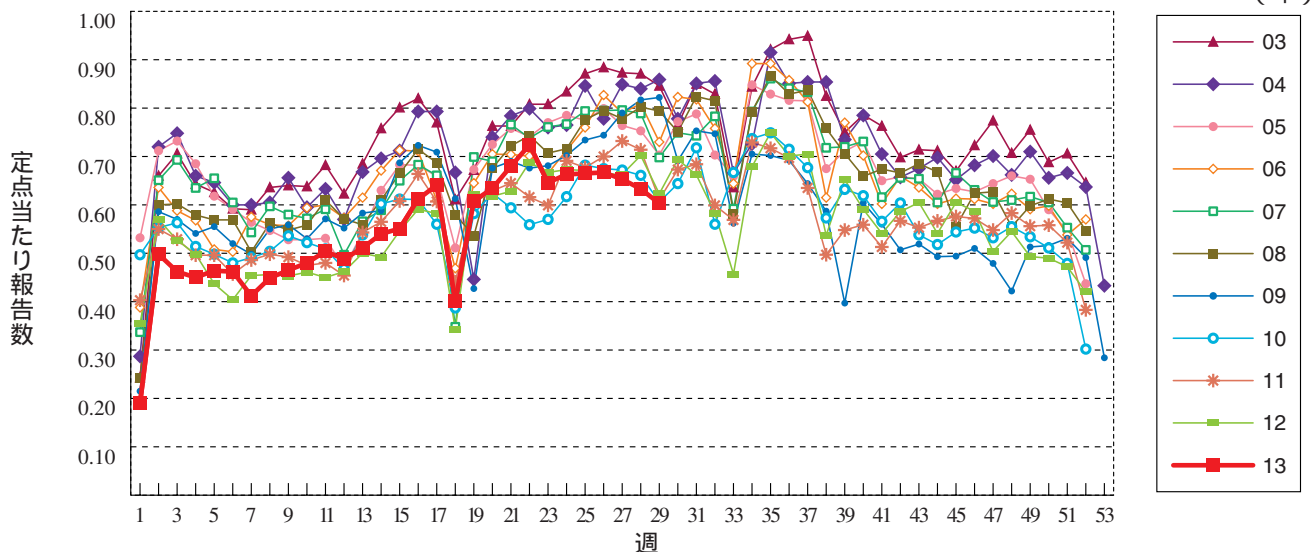
手足口病



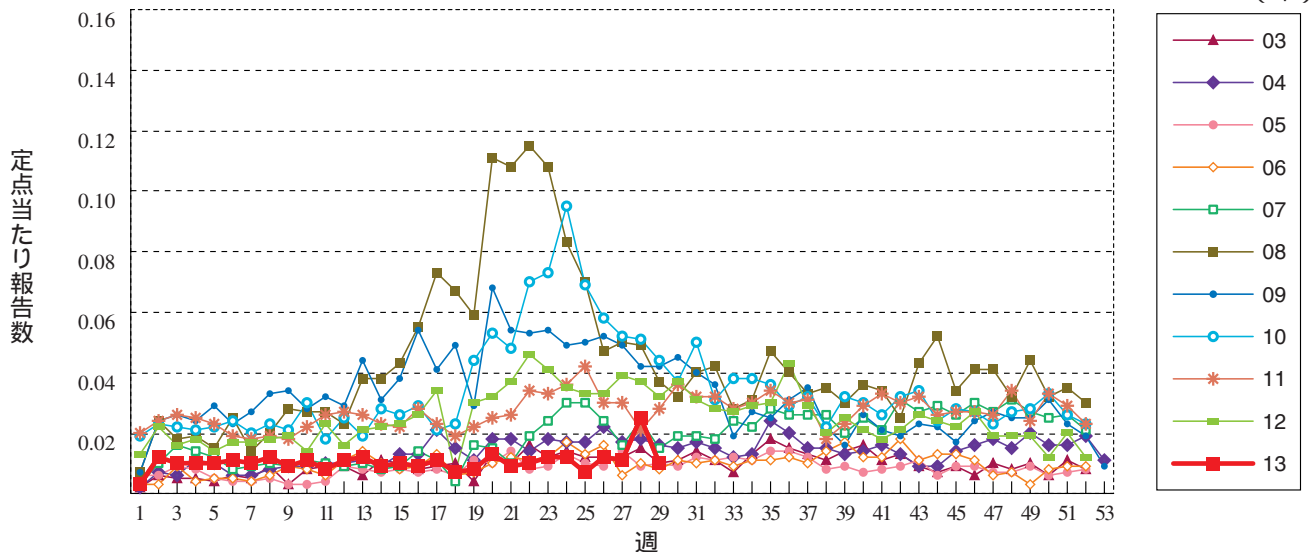
伝染性紅斑



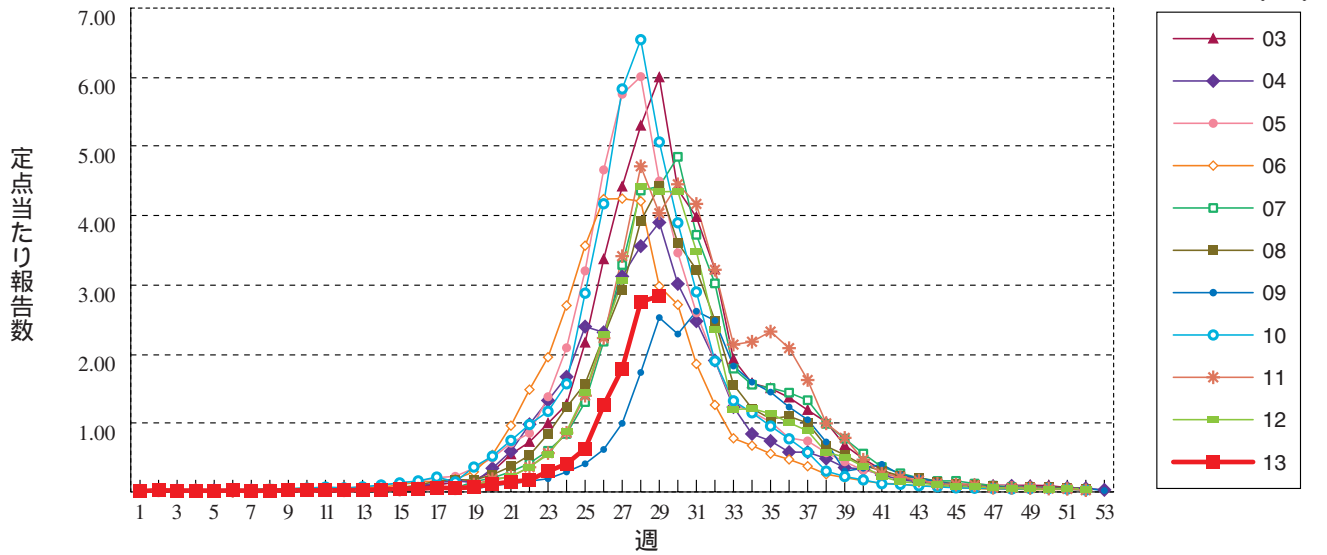
突発性発しん



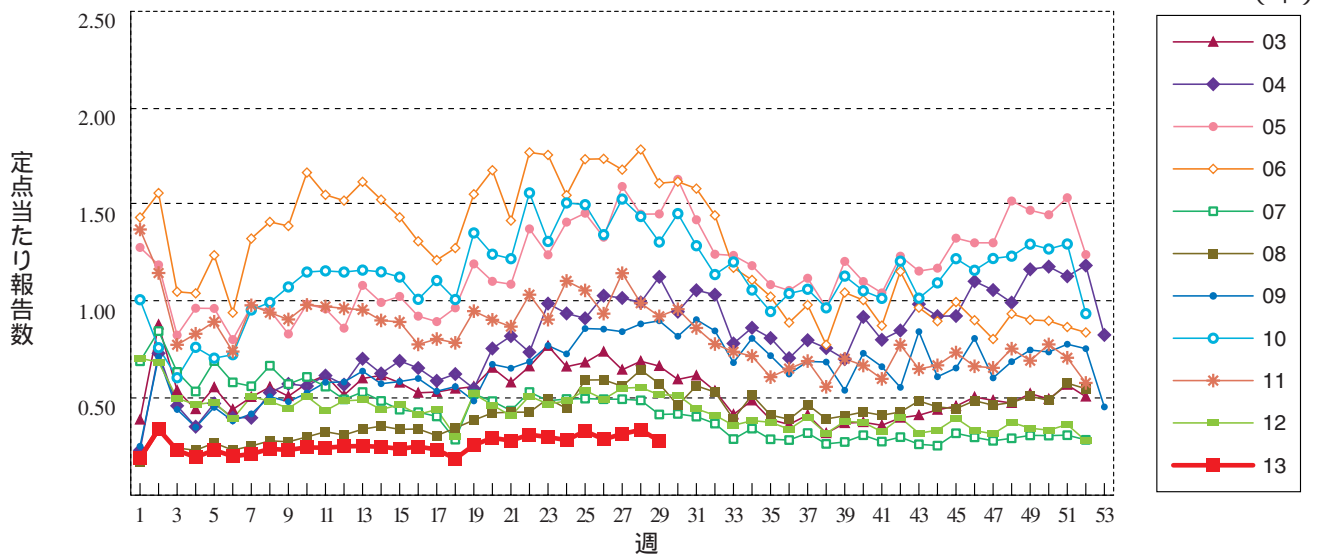
百日咳



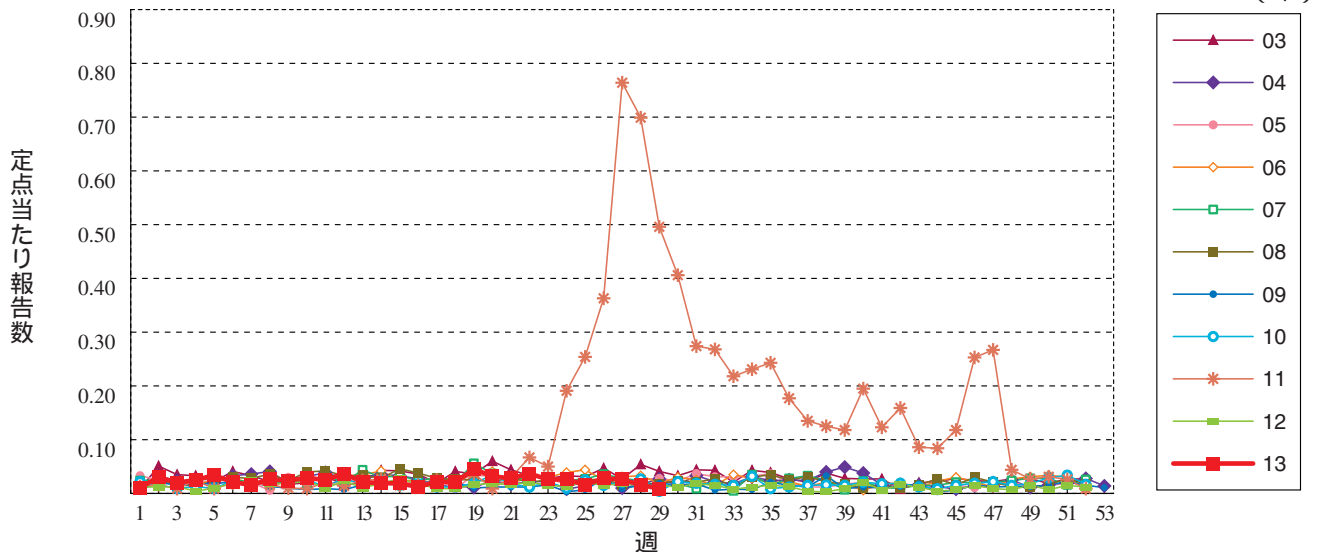
### ヘルパンギーナ



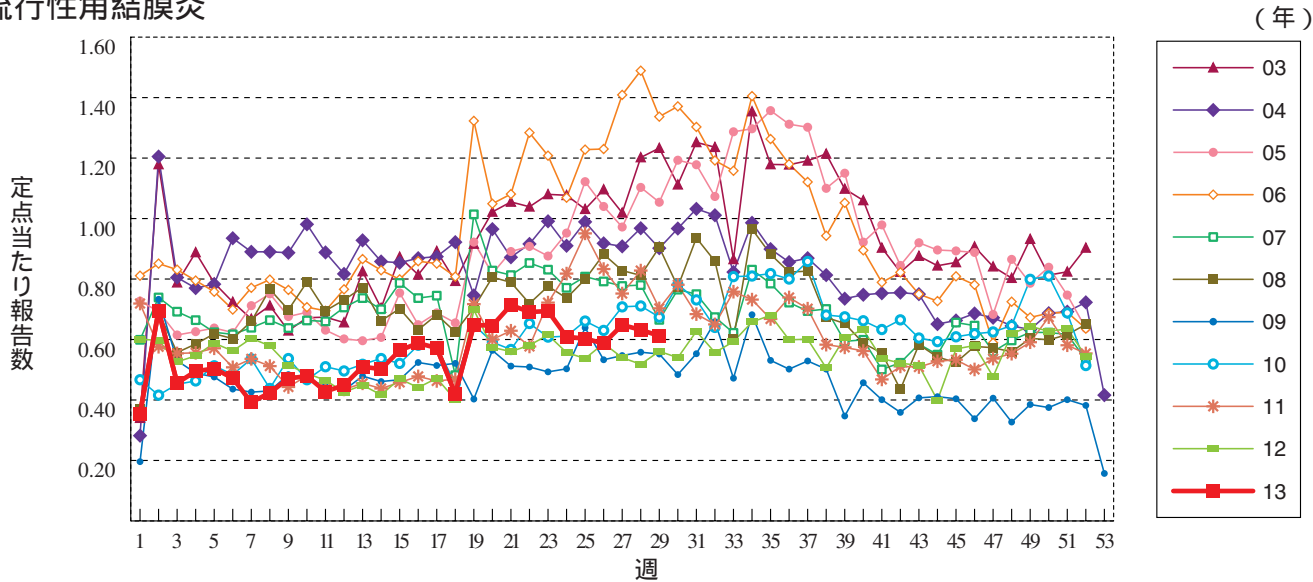
### 流行性耳下腺炎



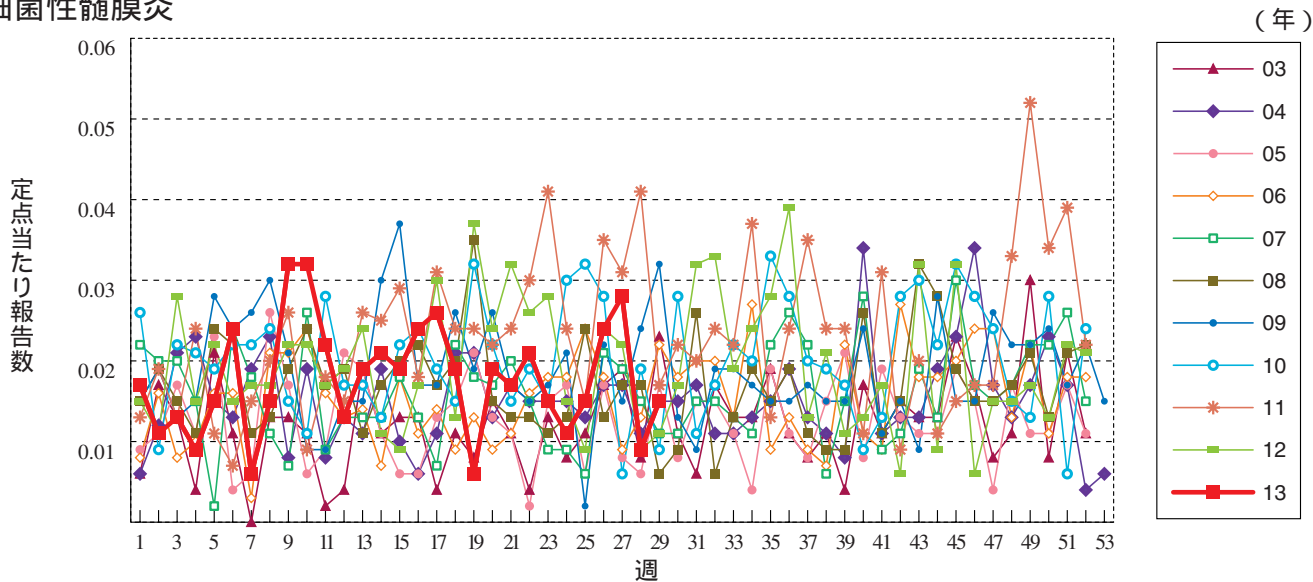
### 急性出血性結膜炎



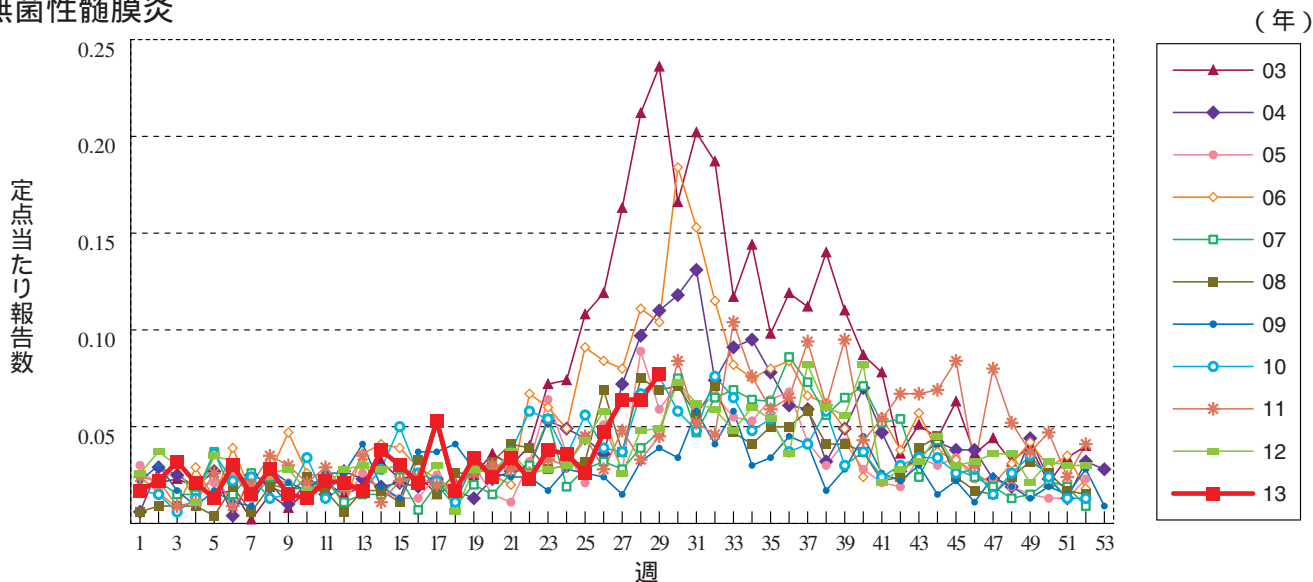
流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎

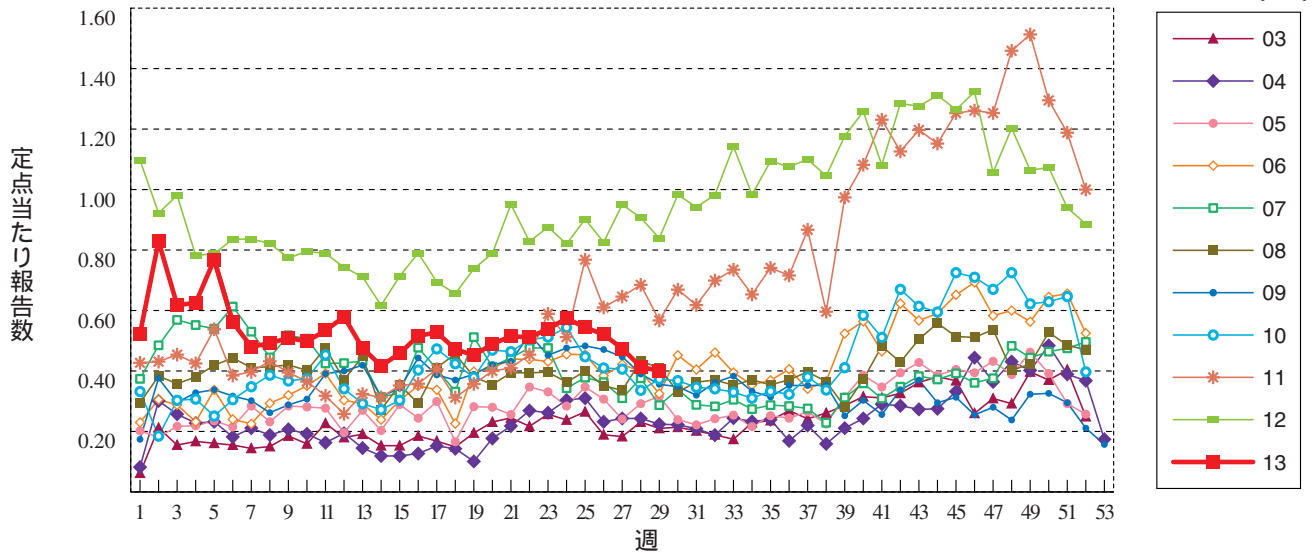


無菌性髄膜炎

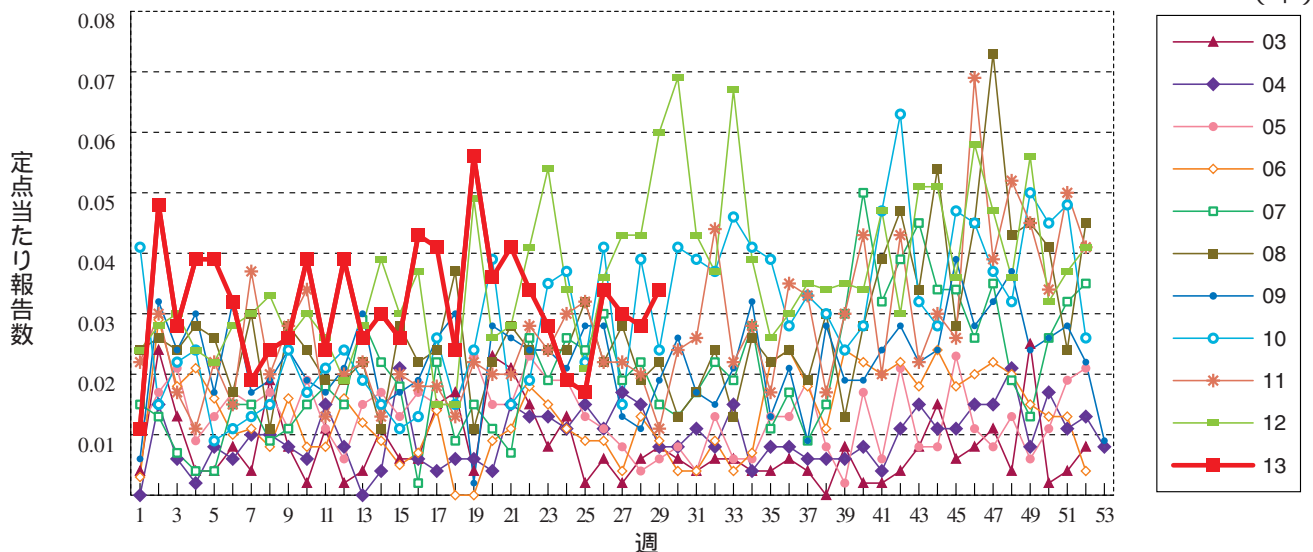




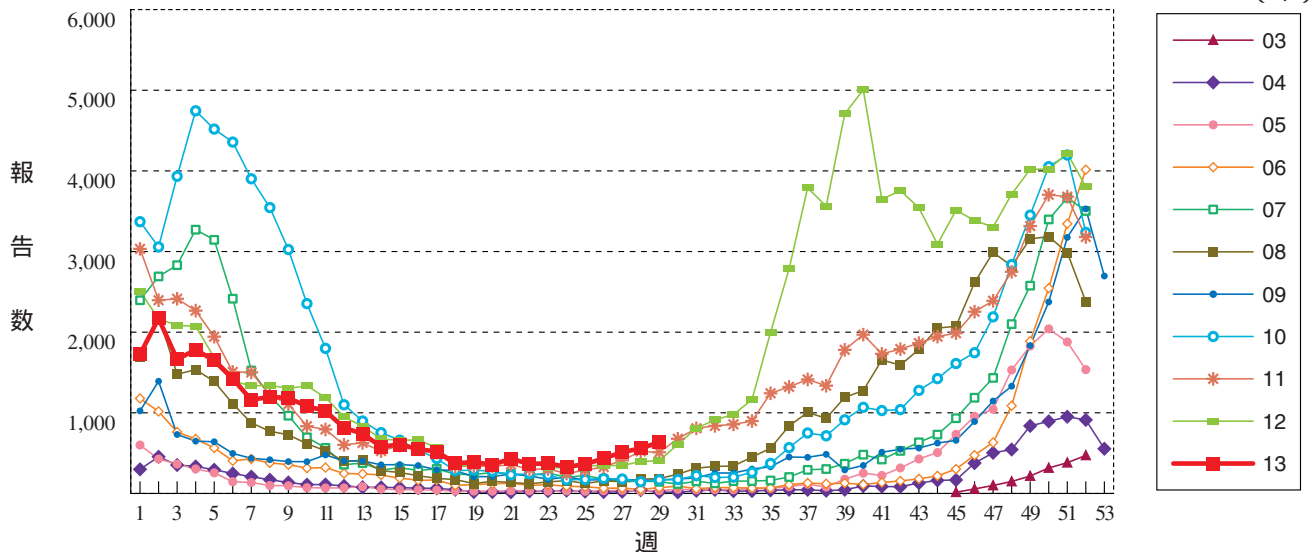
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





## 29週のデータ

注) 表中の報告数は7月24日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。  
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年29週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	332	14228
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	408
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	178
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	113
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	184
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	98
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	134
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	181
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	263
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	180
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	138
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	679
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	681
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66	2205
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	997
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	210
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	108
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	96
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	91
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	52
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	186
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	251
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	360
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	1012
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	171
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	161
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	315
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	948
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	523
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	192
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	172
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	182
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	297
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	140
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	91
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	112
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	105
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	80
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	608
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	119
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	181
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	173
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	143	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	164
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	256

\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年29週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		鳥インフルエンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	1	3	78	135	1206	1	33	-	31	2	74	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28	-	-	-	-	1	15	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	2	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	42	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	42	-	-	-	-	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	14	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	19	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	18	-	-	-	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	21	-	-	-	-	-	3	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	43	-	1	-	-	-	3	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	9	51	-	2	-	1	1	4	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	50	-	3	-	1	-	1	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	15	16	113	-	14	-	14	-	19	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	7	58	1	4	-	5	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21	-	-	-	-	-	2	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	10	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	28	-	-	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	3	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	33	-	-	-	1	-	4	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	21	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21	-	-	-	-	-	3	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	6	64	-	1	-	2	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	37	-	1	-	1	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	19	-	2	-	1	-	1	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	29	-	-	-	1	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	63	-	3	-	1	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	27	-	-	-	1	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	12	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	8	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	5	58	-	1	-	-	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	36	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	26	-	1	-	-	-	2	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	13	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	22	-	-	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	38	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年29週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	89	-	9	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*2013年3月4日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年29週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群*		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	3	-	-	2	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*鳥インフルエンザ H5N1及びH7N9 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年29週

	つつかが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	136	5	103	-	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	2	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	15	1	2	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年29週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	24	-	-	-	4
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

\*\*ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年29週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメルバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	2	40	509	-	5	-	-	15	562	2	148	6	237
北海道	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	16	-	3	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	4	22	-	-	-	-	-	13	-	4	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	-	-	8	-	1	1	20
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	1	6	-	-	11
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	3	19	-	-	-	-	-	20	-	3	-	23
千葉県	-	-	-	-	-	-	5	31	-	-	-	-	-	1	41	-	2	22
東京都	-	-	-	-	-	1	-	38	-	1	-	-	2	111	-	37	1	31
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	30	-	1	-	-	2	56	1	11	1	10
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	12	-	1	-	9
富山県	-	-	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	-	5	-	3	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	2	-	1	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	4	19	-	-	-	-	1	11	-	5	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	1	1	6	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	2	18	-	-	-	-	-	15	-	3	-	9
愛知県	-	-	-	-	-	-	2	29	-	-	-	-	-	35	-	8	1	19
三重県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	4	-	3	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	10	-	6	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	2	33	-	-	-	-	-	52	-	12	-	18
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	1	26	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	1	6	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	13	-	1	-	-	-	7	-	6	-	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	9	1	9	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	3	20	-	-	-	-	4	24	-	4	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	7	-	2	-	6
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3



\*2013年4月1日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年29週

	クリプトスピリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		侵襲性インフルエンザ菌感染症*		侵襲性髄膜炎菌感染症*		侵襲性肺炎球菌感染症*		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	4	111	3	125	19	844	2	40	-	51	-	11	5	464	-	8
北海道	-	1	-	2	-	2	-	17	-	1	-	2	-	-	-	20	-	-
青森県	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	3	-	8	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	2	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	4	1	13	-	-	-	4	-	-	-	15	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	2	-	10	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-
埼玉県	-	-	-	6	-	4	-	24	-	1	-	-	-	1	1	25	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	7	3	42	-	3	-	3	-	-	-	20	-	1
東京都	-	1	-	9	1	22	6	254	-	13	-	5	-	6	-	50	-	3
神奈川県	-	-	-	5	1	12	-	63	-	3	-	5	-	-	-	51	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	1	-	6	-	2	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-
石川県	-	-	-	4	-	2	-	4	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	4	-	10	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-
岐阜県	-	-	1	6	-	2	1	12	-	1	-	1	-	-	-	13	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	6	-	26	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-
愛知県	-	-	-	8	1	6	-	43	-	-	-	5	-	-	-	40	-	2
三重県	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	2	-	8	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
大阪府	-	-	1	8	-	5	3	113	1	2	-	1	-	-	-	16	-	1
兵庫県	-	-	1	7	-	10	2	34	1	5	-	3	-	-	2	22	-	-
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-	1	8	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岡山県	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-
広島県	-	-	-	4	-	1	-	21	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
愛媛県	-	-	-	3	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	1	3	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	5	-	3	2	34	-	2	-	5	-	1	-	28	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	1	2	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	1	8	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	2	-	11	-	-	-	4	-	1	-	8	-	-

\*2013年5月6日より届出対象疾患となりました。

\*\*髄膜炎菌性髄膜炎は2013年3月31日をもって届出対象疾患から外れ、以後は侵襲性髄膜炎菌感染症に含まれることになります。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年29週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風 し ん		麻 し ん		鳥インフル エンザ(H7N9)*		髄膜炎菌性 髄 膜 炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	18	621	2	68	-	-	-	33	184	13110	2	165	-	-	-	2
北海道	-	19	-	3	-	-	-	1	-	100	-	1	-	-	-	-
青森県	-	1	-	1	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	30	-	1	-	-	-	-	1	94	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-
福島県	-	6	-	2	-	-	-	-	1	32	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	8	1	5	-	-	-	1	1	114	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	4	-	2	-	-	-	-	-	44	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	7	-	4	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	16	1	2	-	-	-	6	3	558	1	24	-	-	-	-
千葉県	2	27	-	3	-	-	-	1	13	654	-	18	-	-	-	-
東京都	9	210	-	3	-	-	-	6	37	3130	-	49	-	-	-	-
神奈川県	-	34	-	4	-	-	-	2	22	1527	1	26	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	40	-	1	-	-	-	-
富山県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-
石川県	1	3	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	2	-	-	-	-	2	56	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	10	-	2	-	-	-	1	-	143	-	3	-	-	-	-
愛知県	1	30	-	-	-	-	-	6	6	293	-	7	-	-	-	-
三重県	-	4	-	-	-	-	-	-	1	88	-	4	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	106	-	-	-	-	-	-
京都府	-	5	-	2	-	-	-	-	5	276	-	5	-	-	-	-
大阪府	2	74	-	3	-	-	-	4	42	2974	-	16	-	-	-	1
兵庫県	1	24	-	2	-	-	-	-	20	1087	-	5	-	-	-	-
奈良県	-	3	-	1	-	-	-	-	2	172	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	-	-	-	-	-	4	229	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	2	-	-	-	-	1	46	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	2	-	-	-	1	-	71	-	2	-	-	-	-
広島県	-	3	-	1	-	-	-	-	1	87	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	23	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	1	-	2	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
香川県	-	13	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-
高知県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	29	-	2	-	-	-	2	6	270	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	1	-	-	-	-	4	36	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	1	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	4	-	1	-	-	-	1	-	62	-	-	-	-	-	-
大分県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	5	-	3	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	6	-	3	-	-	-	-	4	375	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	3	-	1	-	-	-	-	2	46	-	-	-	-	-	-

\*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年29週

	インフルエンザ*		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	報告数	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	230	0.05	635	1720	0.55	3316	1.05	10266	3.26	2254	0.72	25455	8.09	175	0.06	1898	0.60	
北海道	2	0.01	85	167	1.18	181	1.27	266	1.87	141	0.99	61	0.43	3	0.02	50	0.35	
青森県	-	-	9	6	0.15	32	0.78	43	1.05	19	0.46	69	1.68	-	-	21	0.51	
岩手県	4	0.06	4	8	0.21	44	1.13	93	2.38	32	0.82	27	0.69	-	-	17	0.44	
宮城県	1	0.01	16	21	0.36	83	1.43	145	2.50	59	1.02	125	2.16	6	0.10	32	0.55	
秋田県	-	-	1	17	0.49	32	0.91	72	2.06	12	0.34	17	0.49	2	0.06	19	0.54	
山形県	-	-	2	7	0.23	50	1.67	113	3.77	23	0.77	108	3.60	-	-	28	0.93	
福島県	-	-	21	19	0.42	59	1.31	95	2.11	43	0.96	93	2.07	3	0.07	32	0.71	
茨城県	2	0.02	7	27	0.36	85	1.13	417	5.56	41	0.55	651	8.68	-	-	30	0.40	
栃木県	-	-	1	15	0.31	50	1.04	47	0.98	32	0.67	381	7.94	1	0.02	35	0.73	
群馬県	-	-	-	20	0.33	50	0.83	199	3.32	34	0.57	263	4.38	-	-	31	0.52	
埼玉県	1	0.00	17	116	0.73	203	1.28	588	3.70	140	0.88	2972	18.69	10	0.06	113	0.71	
千葉県	8	0.04	21	79	0.59	207	1.56	347	2.61	97	0.73	1536	11.55	11	0.08	72	0.54	
東京都	11	0.03	53	188	0.72	339	1.29	837	3.19	164	0.63	3593	13.71	38	0.15	203	0.77	
神奈川県	-	-	19	76	0.37	189	0.92	578	2.82	174	0.85	2065	10.07	17	0.08	134	0.65	
新潟県	-	-	5	38	0.62	72	1.18	153	2.51	35	0.57	491	8.05	22	0.36	32	0.52	
富山県	-	-	1	3	0.10	49	1.69	92	3.17	18	0.62	221	7.62	13	0.45	9	0.31	
石川県	-	-	-	9	0.31	33	1.14	59	2.03	16	0.55	95	3.28	-	-	18	0.62	
福井県	-	-	5	9	0.41	47	2.14	118	5.36	14	0.64	126	5.73	1	0.05	15	0.68	
山梨県	-	-	1	2	0.08	33	1.38	44	1.83	9	0.38	288	12.00	-	-	4	0.17	
長野県	-	-	-	15	0.28	86	1.59	173	3.20	49	0.91	152	2.81	3	0.06	21	0.39	
岐阜県	2	0.02	3	15	0.28	33	0.62	121	2.28	32	0.60	187	3.53	-	-	23	0.43	
静岡県	1	0.01	7	47	0.53	91	1.02	328	3.69	24	0.27	835	9.38	3	0.03	57	0.64	
愛知県	1	0.01	28	71	0.39	125	0.69	589	3.25	125	0.69	1498	8.28	8	0.04	133	0.73	
三重県	1	0.01	14	26	0.58	20	0.44	145	3.22	42	0.93	439	9.76	-	-	34	0.76	
滋賀県	-	-	-	18	0.56	15	0.47	86	2.69	29	0.91	144	4.50	-	-	18	0.56	
京都府	-	-	3	27	0.38	43	0.60	172	2.39	42	0.58	221	3.07	1	0.01	25	0.35	
大阪府	6	0.02	40	95	0.48	265	1.34	671	3.39	128	0.65	1589	8.03	12	0.06	104	0.53	
兵庫県	3	0.02	13	46	0.36	95	0.74	488	3.78	85	0.66	882	6.84	1	0.01	66	0.51	
奈良県	-	-	1	4	0.12	15	0.44	58	1.71	15	0.44	194	5.71	-	-	10	0.29	
和歌山県	-	-	1	7	0.23	11	0.35	68	2.19	21	0.68	138	4.45	-	-	25	0.81	
鳥取県	2	0.07	1	6	0.32	33	1.74	53	2.79	14	0.74	190	10.00	1	0.05	8	0.42	
島根県	1	0.03	3	4	0.17	23	1.00	112	4.87	19	0.83	96	4.17	-	-	7	0.30	
岡山県	-	-	3	12	0.22	26	0.48	219	4.06	38	0.70	414	7.67	3	0.06	24	0.44	
広島県	-	-	20	73	1.01	70	0.97	230	3.19	31	0.43	822	11.42	1	0.01	39	0.54	
山口県	-	-	25	20	0.43	56	1.19	161	3.43	33	0.70	590	12.55	1	0.02	27	0.57	
徳島県	-	-	2	10	0.43	22	0.96	135	5.87	11	0.48	113	4.91	-	-	25	1.09	
香川県	-	-	-	6	0.20	22	0.73	137	4.57	27	0.90	263	8.77	4	0.13	34	1.13	
愛媛県	-	-	5	10	0.27	16	0.43	219	5.92	22	0.59	158	4.27	1	0.03	32	0.86	
高知県	-	-	-	5	0.17	7	0.23	56	1.87	44	1.47	170	5.67	1	0.03	18	0.60	
福岡県	1	0.01	82	120	1.00	119	0.99	554	4.62	104	0.87	1008	8.40	2	0.02	68	0.57	
佐賀県	-	-	-	51	2.22	20	0.87	27	1.17	18	0.78	159	6.91	-	-	15	0.65	
長崎県	6	0.09	-	14	0.32	41	0.93	96	2.18	30	0.68	409	9.30	-	-	18	0.41	
熊本県	9	0.11	6	37	0.74	34	0.68	253	5.06	47	0.94	426	8.52	1	0.02	49	0.98	
大分県	2	0.03	5	19	0.53	69	1.92	269	7.47	31	0.86	455	12.64	-	-	37	1.03	
宮崎県	6	0.10	10	36	1.00	46	1.28	211	5.86	22	0.61	220	6.11	1	0.03	53	1.47	
鹿児島県	2	0.02	25	69	1.25	56	1.02	271	4.93	42	0.76	449	8.16	3	0.05	24	0.44	
沖縄県	158	2.72	70	30	0.88	19	0.56	58	1.71	26	0.76	52	1.53	1	0.03	9	0.26	

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年29週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	33	0.01	8928	2.84	883	0.28	6	0.01	414	0.61	7	0.01	36	0.08	187	0.40	16	0.03
北海道	-	-	50	0.35	10	0.07	-	-	20	0.69	-	-	-	-	3	0.13	-	-
青森県	-	-	38	0.93	14	0.34	1	0.09	8	0.73	-	-	-	-	7	1.17	-	-
岩手県	-	-	57	1.46	22	0.56	-	-	1	0.07	-	-	-	-	14	0.74	-	-
宮城県	-	-	151	2.60	21	0.36	-	-	5	0.42	1	0.08	-	-	16	1.33	3	0.25
秋田県	-	-	12	0.34	23	0.66	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-
山形県	1	0.03	161	5.37	21	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.40	2	0.20
福島県	1	0.02	47	1.04	40	0.89	-	-	8	0.67	-	-	-	-	18	2.57	-	-
茨城県	-	-	192	2.56	9	0.12	-	-	23	1.35	-	-	-	-	3	0.23	-	-
栃木県	-	-	103	2.15	17	0.35	-	-	9	0.75	-	-	2	0.29	3	0.43	4	0.57
群馬県	-	-	281	4.68	14	0.23	-	-	9	0.64	1	0.13	1	0.13	1	0.13	-	-
埼玉県	1	0.01	502	3.16	65	0.41	2	0.05	27	0.66	-	-	-	-	6	0.60	-	-
千葉県	5	0.04	326	2.45	28	0.21	-	-	15	0.47	-	-	3	0.33	2	0.22	-	-
東京都	1	0.00	1077	4.11	63	0.24	-	-	19	0.49	2	0.08	4	0.16	8	0.32	2	0.08
神奈川県	2	0.01	774	3.78	63	0.31	1	0.03	45	1.13	-	-	1	0.10	2	0.20	1	0.10
新潟県	4	0.07	202	3.31	6	0.10	1	0.10	3	0.30	-	-	-	-	3	0.23	2	0.15
富山県	-	-	109	3.76	4	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80	-	-
石川県	-	-	133	4.59	4	0.14	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	1.00	-	-
福井県	-	-	63	2.86	18	0.82	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	19	0.79	6	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	60	1.11	4	0.07	-	-	2	0.18	-	-	1	0.09	8	0.73	-	-
岐阜県	-	-	187	3.53	23	0.43	-	-	1	0.09	-	-	1	0.20	2	0.40	-	-
静岡県	2	0.02	102	1.15	16	0.18	-	-	4	0.18	-	-	1	0.10	13	1.30	-	-
愛知県	2	0.01	390	2.15	49	0.27	-	-	11	0.32	-	-	-	-	13	1.00	-	-
三重県	-	-	128	2.84	8	0.18	-	-	4	0.33	-	-	1	0.11	1	0.11	-	-
滋賀県	-	-	142	4.44	6	0.19	-	-	3	0.38	-	-	-	-	6	0.86	-	-
京都府	-	-	175	2.43	3	0.04	-	-	8	0.47	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.03	865	4.37	37	0.19	-	-	16	0.31	1	0.06	3	0.18	3	0.18	-	-
兵庫県	2	0.02	519	4.02	16	0.12	-	-	15	0.43	-	-	-	-	2	0.18	-	-
奈良県	-	-	54	1.59	3	0.09	1	0.11	-	-	-	-	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	1	0.03	113	3.65	2	0.06	-	-	2	0.50	-	-	-	-	3	0.27	-	-
鳥取県	-	-	25	1.32	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	21	0.91	2	0.09	-	-	-	-	-	-	2	0.25	3	0.38	-	-
岡山県	-	-	264	4.89	8	0.15	-	-	5	0.42	-	-	1	0.20	-	-	-	-
広島県	-	-	93	1.29	19	0.26	-	-	19	1.00	-	-	3	0.14	3	0.14	-	-
山口県	-	-	172	3.66	6	0.13	-	-	1	0.11	-	-	1	0.11	1	0.11	-	-
徳島県	-	-	102	4.43	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	101	3.37	6	0.20	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.05	25	0.68	7	0.19	-	-	8	1.00	-	-	2	0.33	1	0.17	-	-
高知県	1	0.03	176	5.87	19	0.63	-	-	-	-	1	0.13	-	-	2	0.25	2	0.25
福岡県	-	-	253	2.11	91	0.76	-	-	26	1.00	-	-	2	0.15	-	-	-	-
佐賀県	-	-	64	2.78	21	0.91	-	-	5	1.25	-	-	2	0.33	3	0.50	-	-
長崎県	-	-	34	0.77	21	0.48	-	-	3	0.38	-	-	-	-	8	0.67	-	-
熊本県	-	-	184	3.68	8	0.16	-	-	16	1.78	-	-	2	0.13	3	0.20	-	-
大分県	-	-	105	2.92	28	0.78	-	-	1	0.20	-	-	-	-	5	0.45	-	-
宮崎県	-	-	101	2.81	8	0.22	-	-	12	2.00	-	-	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	150	2.73	16	0.29	-	-	7	1.00	1	0.08	-	-	-	-	-	-
沖縄県	3	0.09	26	0.76	4	0.12	-	-	49	4.90	-	-	1	0.14	7	1.00	-	-

報告数・疾病・都道府県別  
 2013年29週

	インフルエンザ (入院患者)
	報告数
総 数	3
北海道	-
青森県	-
岩手県	-
宮城県	-
秋田県	-
山形県	-
福島県	-
茨城県	-
栃木県	-
群馬県	1
埼玉県	-
千葉県	-
東京都	-
神奈川県	-
新潟県	-
富山県	-
石川県	-
福井県	-
山梨県	-
長野県	-
岐阜県	-
静岡県	-
愛知県	1
三重県	-
滋賀県	-
京都府	-
大阪府	-
兵庫県	-
奈良県	-
和歌山県	-
鳥取県	-
島根県	1
岡山県	-
広島県	-
山口県	-
徳島県	-
香川県	-
愛媛県	-
高知県	-
福岡県	-
佐賀県	-
長崎県	-
熊本県	-
大分県	-
宮崎県	-
鹿児島県	-
沖縄県	-

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 ) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年29週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群( SARS )						結核		鳥インフルエンザ( H5N1又はH7N9 )		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2013年29週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第15巻 第29号 2013年8月2日発行  
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症疫学センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。